

Ⅲ 文化財保護担当



文化財保護担当目次

1 文化財保護審議会	22
(1) 活動状況	
(2) 文化財保護審議会委員名簿	
2 指定文化財および登録文化財	25
(1) 茅ヶ崎の指定文化財および登録文化財マップ	
(2) 国・県・市指定文化財一覧	
(3) 指定文化財の概要	
(4) 国登録有形文化財	
3 保存管理	32
(1) 市指定文化財保存管理	
(2) 文化財パトロール	
(3) 説明板設置	
(4) 郷土芸能伝承事業	
(5) 文化財保存用地管理	
(6) 文化財保護に関する啓発	
4 普及事業	33
(1) 第47回茅ヶ崎市郷土芸能大会	
(2) 文化財講演会	
5 ちがさき丸ごとふるさと発見博物館事業	34
(1) ちがさき丸ごとふるさと発見博物館アクションプロジェクト活動状況	
(2) 企画展「つながるちがさき2020」	
(3) ちがさき丸ごとふるさと発見博物館講座（基礎編）	
(4) まち歩き企画	
(5) サイン設置事業	
(6) 広報活動	
(7) ウェブサイト MaruhakuTV	
(8) ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の会の活動	
(9) ちがさき丸ごとふるさと発見博物館友の会の活動	
(10) ちがさき丸ごとふるさと発見博物館のシンボルマークの活用	
6 史跡・遺跡整備事業	39
(1) 国指定史跡・天然記念物 旧相模川橋脚保存活用事業	
(2) 国指定史跡 下寺尾官衙遺跡群・下寺尾西方遺跡保存活用事業	
ア 下寺尾遺跡群保存・活用部会	
イ 史跡確認調査事業	
ウ 公開普及等	
エ 資料整理・調査	
(3) サイン設置事業	
7 埋蔵文化財	46
(1) 保護管理事業	
(2) 試掘・確認調査	
(3) 開発に伴う発掘調査	52
(4) 立会調査等	
(5) 会議等	

ア 市町村埋蔵文化財保護行政連絡協議会	
イ 県・市町村埋蔵文化財検討分科会	
(6) 出土品資料等整理	
(7) 普及・啓発	53
ア 茅ヶ崎市遺跡調査発表展示会	
イ 国指定記念シンポジウム	
ウ 講師対応	
エ 遺跡説明板設置	
(8) 刊行物	
(9) 資料貸出・使用承認	
(10) 文化財資料の管理	
(11) 関係図書資料の交換・寄贈	58

1 文化財保護審議会

(1) 活動状況

- 令和元年 5月25日(土) 第1回文化財保護審議会
- 1 令和元年度文化財保護事業について
 - 2 市指定重要文化財鶴嶺八幡宮参道及び松並木について
 - 3 県指定天然記念物浄見寺の寺林について
- その他
- 6月17日(月) 第1回文化財保護審議会下寺尾遺跡群等保存・活用部会
- 1 「(仮称)下寺尾遺跡群保存活用にかかる基本方針」について
 - 2 2019年度確認調査について
 - 3 仮整備について
- その他
- 2019年度下寺尾関係事業について
- 8月20日(火) 第2回文化財保護審議会
- 1 三島大神の奉納絵馬の文化財調査結果について
 - 2 市指定重要文化財鶴嶺八幡宮参道及び松並木について
 - 3 (仮称)歴史文化交流館整備事業の進捗状況について
 - 4 下寺尾遺跡群の普及事業について
- その他
- ・「エコミュージアムとコミュニティミュージアム・フォーラム in かながわ」の開催について
 - ・下寺尾西方遺跡国史跡指定記念シンポジウムについて
- 9月16日(月) 第2回文化財保護審議会下寺尾遺跡群等保存・活用部会
- 1 下寺尾西方遺跡の保存活用計画について
 - 2 史跡確認調査について
 - 3 公開普及事業について
- その他
- 11月10日(日) 第3回文化財保護審議会
- 〔視察〕三島大神の奉納絵馬、財鶴嶺八幡宮参道及び松並木
- 1 指定天然記念物の台風による被害状況と今後の対応について
 - 2 三島大神の奉納絵馬の指定申請について
 - 3 下寺尾遺跡群の確認調査について
 - 4 埋蔵文化財の確認調査事業について
- その他
- ・文化財保護普及啓発事業について
- 11月10日(日) 第3回文化財保護審議会下寺尾遺跡群等保存・活用部会
- 〔視察〕下寺尾遺跡群の西方遺跡第7次確認調査現場
- 1 史跡確認調査の現地視察について
 - 2 史跡下寺尾西方遺跡保存活用計画について
- その他

(2) 文化財保護審議会委員名簿

①任期2年（平成30年7月1日～令和2年6月30日）

②任期2年（令和元年10月1日～令和3年9月30日）

氏 名	区 分	備 考
近 藤 英 夫	考古学	会 長 任期①
相 澤 正 彦	日本美術	副会長 任期①
緒 方 隆	自然	任期①
岡 崎 孝 夫	民俗	任期①
五味 文 彦	歴史学	任期①
田 尾 誠 敏	史跡整備・考古学	任期②
宮 瀧 交 二	博物館学・古代史	任期②

※下寺尾官衙遺跡群の保存・管理計画を定めていくにあたり、平成27年9月議会にて茅ヶ崎市附属機関設置条例を改正、委員の数を5人以内から7人以内とし、史跡整備及び古代史に係る学識経験者を委員として委嘱した。

文化財保護審議会特別委員名簿

①任期2年（令和元年10月1日～令和3年9月30日）

②任期2年（令和元年6月1日～令和3年5月31日）

氏 名	区 分	備 考
荒 井 秀 規	古代史	任期①
岡 本 孝 之	考古学	任期①
佐 藤 次 男	下寺尾自治会	市民 任期①
箱 崎 和 久	建築史	任期①
寺 前 直 人	考古学	任期②

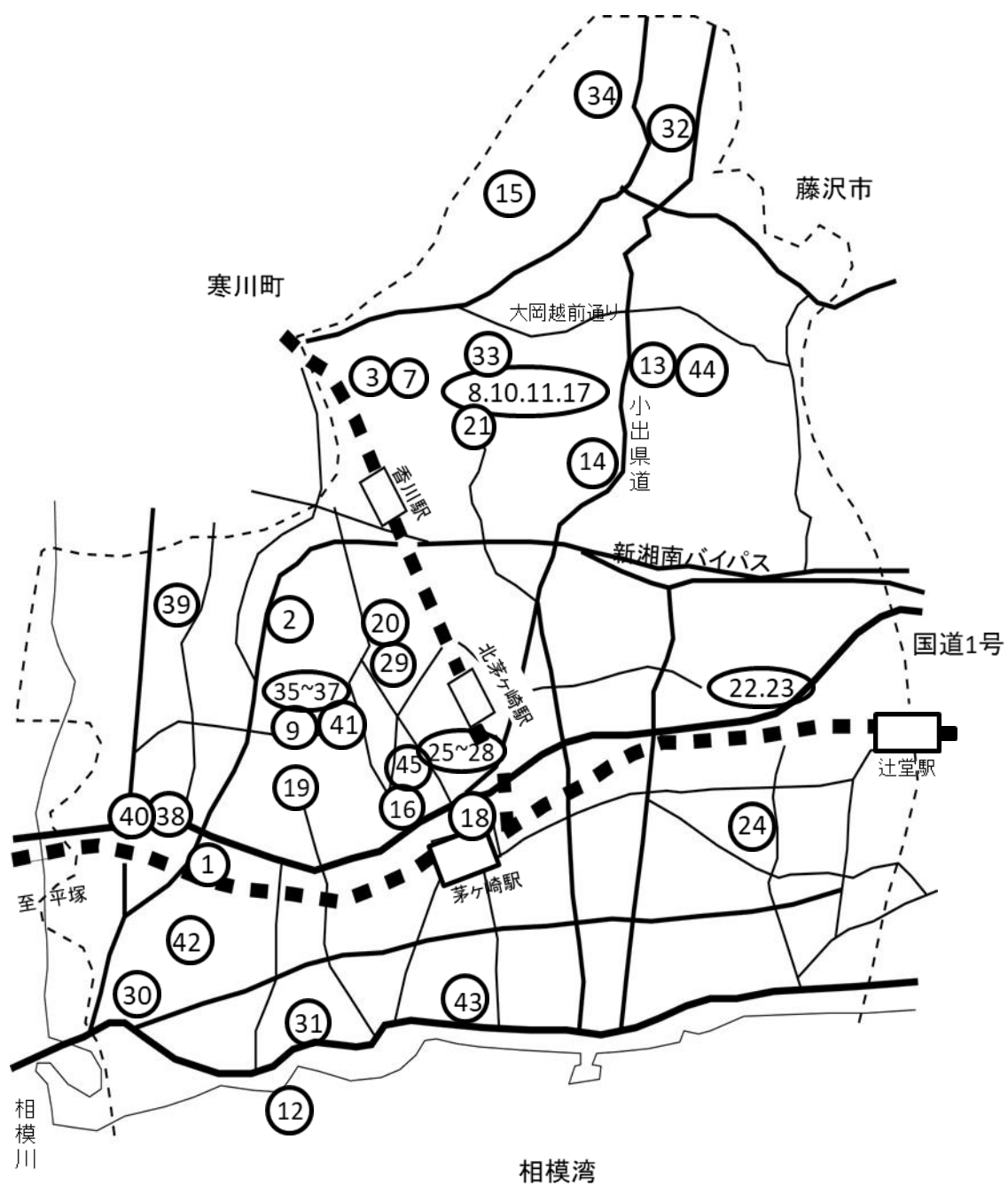
文化財保護審議会下寺尾遺跡群保存・活用部会

氏 名	区 分	備 考
近 藤 英 夫	考古学	市民
五味 文 彦	歴史学	
田 尾 誠 敏	史跡整備・考古学	
宮 瀧 交 二	博物館学・古代史	
荒 井 秀 規	古代史	
岡 本 孝 之	考古学	
佐 藤 次 男	下寺尾自治会	
箱 崎 和 久	建築史	
寺 前 直 人	考古学	

※茅ヶ崎市文化財保護審議会規則を改正し、教育委員会は、特別の事項を調査審議するため必要があると認めるときは、審議会に特別委員を置くことができることとした。また、審議会は、特別の事項を調査審議するため、部会を置くことができることとした。（平成27年10月1日より施行）

2 指定文化財および登録文化財

(1) 茅ヶ崎の指定文化財マップ



※4～6は個人所有のため記載していません

(2) 国・県・市指定文化財一覧

(国指定8件 県指定9件 市指定29件)

番 号	区 分	名 称	指定年月日	種 別	所 在 地
1	国指定	旧相模川橋脚	大正15. 10. 20	史跡	下町屋1-551-2
	〃	〃	平成25. 3. 27	天然記念物	〃
2	〃	宝生寺の銅造阿弥陀三尊立像	昭和34. 6. 27	重要文化財	西久保546
3	〃	下寺尾官衙遺跡群	平成27. 3. 10	史跡	下寺尾字西方
4	〃	短刀 銘 安吉 1口	昭和32. 2. 19	重要文化財	個人所有
5	〃	刀 金象嵌銘 貞次磨上之本阿(花押) 1口	昭和32. 2. 19	重要文化財	個人所有
6	〃	短刀 銘 江州甘呂俊長 1口	昭和33. 2. 8	重要文化財	個人所有
7	〃	下寺尾西方遺跡	平成31. 2. 26	史跡	下寺尾字西方
8	県指定	浄見寺のオハツキイチョウ	昭和36. 3. 14	天然記念物	堤4330
9	〃	鶴嶺八幡のイチョウ	昭和37. 10. 2	〃	浜之郷462
10	〃	浄見寺の銅造弁才天坐像	昭和41. 10. 25	重要文化財	堤4317
11	〃	浄見寺の寺林	昭和42. 7. 21	天然記念物	堤4318 外
12	〃	茅ヶ崎海岸浜降祭	昭和53. 6. 23	無形民俗文化財	南湖・西浜海岸
13	〃	堤貝塚	平成 4. 2. 14	史跡	堤2719-2
14	〃	八幡大神の庚申塔(承応3年)	平成18. 2. 14	有形民俗文化財	甘沼292
15	〃	金山神社の庚申塔(承応4年)	〃	〃	行谷766-2
16	〃	神明宮の庚申塔(明暦4年)	〃	〃	十間坂3-9-47
17	市指定	浄見寺の大岡家一族墓所	昭和36. 2. 14	史跡	堤4330
18	〃	茅ヶ崎一里塚	昭和36. 8. 15	〃	元町5890
19	〃	鶴嶺八幡宮参道および松並木	昭和44. 8. 15	史跡・天然記念物	浜之郷732 外
20	〃	輪光寺の庚申塔(寛永17年)	〃	重要文化財	円蔵2238
21	〃	民俗資料館(旧三橋家)	昭和46. 3. 26	〃	堤4318
22	〃	上正寺の木造聖徳太子立像	昭和49. 1. 23	〃	小和田2-12-73
23	〃	上正寺の旧寛永寺石燈籠	〃	〃	小和田2-12-73
24	〃	小和田公民館の旧寛永寺石燈籠	〃	〃	美住町6-20
25	〃	市役所前庭の旧寛永寺石燈籠	〃	〃	茅ヶ崎1-1-1
26	〃	市役所前庭の旧寛永寺石燈籠	〃	〃	〃
27	〃	市役所前庭の旧寛永寺石燈籠	〃	〃	〃
28	〃	市役所前庭の旧寛永寺石燈籠	〃	〃	〃
29	〃	圓蔵祭囃子	昭和50. 3. 24	〃	円蔵
30	〃	柳島エンコロ節	昭和51. 1. 22	〃	柳島
31	〃	南湖麦打唄	昭和54. 3. 31	〃	南湖
32	〃	芹沢焼米搗唄	〃	〃	芹沢
33	〃	民俗資料館(旧和田家)	昭和57. 7. 20	〃	堤3882 外
34	〃	腰掛神社の樹叢	昭和61. 2. 21	天然記念物	芹沢2170 外
35	〃	龍前院の五輪塔十基	昭和62. 4. 17	重要文化財	浜之郷356
36	〃	龍前院の庚申塔(明暦3年)	〃	〃	〃
37	〃	龍前院の梵鐘	〃	〃	〃
38	〃	上国寺の木造日蓮坐像(永正11年)	平成 8. 11. 1	〃	今宿488
39	〃	常願寺の木造日蓮坐像(大永7年)	〃	〃	萩園1441
40	〃	信隆寺の木造日蓮坐像(永禄7年)	〃	〃	今宿841
41	〃	本社宮の庚申塔(明暦2年)	〃	〃	矢畑142

42	〃	藤間家(近世商家)屋敷跡	平成25. 3. 15	史跡	柳島 2-6-30
43	〃	堤貝塚出土の深鉢形土器	〃	重要文化財	中海岸2-2-18
44	〃	堤貝塚	平成27. 6. 1	史跡	堤字十二天1467-1
45	〃	本村居村遺跡出土木簡	〃	重要文化財	十間坂3-6-17

(3) 指定文化財の概要

国指定文化財

1 旧相模川橋脚 (下町屋1-5 5 1-2)

大正15年10月20日 史跡指定(内務省告示第158号)

平成19年2月6日 史跡追加指定(文部科学省告示第12号)

平成25年3月27日 天然記念物指定(文部科学省告示第42号)

大正12年9月1日の関東大震災時に水田の中から木柱が出現したもので、歴史学者の沼田頼輔博士が、建久9年(1198年)に、源頼朝の重臣、稲毛三郎重成が亡妻の供養のために架けた橋の橋脚であると考証され、史跡指定を受け保存されてきた。平成13年から19年まで実施された保存整備に伴う調査で、橋脚が10本であることや、北側に中世土留め遺構があることが明らかになった。

また、橋脚の出現状況は関東大震災により発生した液状化現象の様子を示している記念物として評価され、新たに国の天然記念物として指定された。

2 宝生寺の銅造 阿弥陀如来及両脇侍立像(阿弥陀三尊立像)(西久保5 4 6 宝生寺蔵)

昭和34年6月27日 重要文化財指定

善光寺式の阿弥陀如来立像(高さ58.3cm)で、観音、勢至の両脇侍をそなえている。鎌倉期の作とされる優品である。

3 下寺尾官衙遺跡群

平成27年3月10日 史跡指定(文部科学省告示第38号)

平成30年2月13日 史跡追加指定(文部科学省告示第18号)

平成31年2月26日 史跡追加指定(文部科学省告示第26号)

小出川を望む標高約13mの相模原台地頂部に位置する相模国(さがみのくに)高座(たかくら)郡家(ぐうけ)(郡衙(ぐんが))と考えられる下寺尾官衙遺跡(西方遺跡)と台地の南裾に位置する下寺尾廃寺(はいじ)跡(七堂伽藍(しちどうがらん)跡)からなる。遺跡の西側では8世紀後半から9世紀前半にかけての船着き場と祭祀場が検出され、寺跡の南東でも祭祀場が検出されているなど、高座郡家に関連する施設が、相模原台地を中心とする比較的狭い範囲に集中していることが確認されている。

郡庁は7世紀末から8世紀前半に成立し、四面廂付(しめんびさしつき)の掘立柱(ほったてばしら)建物である正殿(せいでん)と、脇殿(わきでん)、後殿(こうでん)からなっていたものが、8世紀中頃に改変され9世紀前半に廃絶する。正倉は、郡庁後殿から約100mの空閑地を挟み、台地の北縁に沿って4棟検出されているが8世紀中頃には廃絶している。下寺尾廃寺は、郡庁南西の台地裾の低地に位置する。掘立柱堀による方形の区画の東側北寄りに金堂、西側の中央付近に講堂と考えられる建物を置く伽藍は7世紀後半の創建と考えられ、8世紀中頃以降に大きく改変され9世紀後半に廃絶する。

官衙遺跡の全体像が把握できるとともに、その成立から廃絶に至るまでの過程が確認できる稀有な遺跡であり、地方官衙の構造や立地を知る上で重要である。

4 短刀 銘 安吉/(個人蔵)

昭和32年2月19日 重要文化財指定

室町時代。平造(ひらづくり)、ほとんど生ぶ茎(うぶなかご)。寸延びの短刀である。

5 刀 金象嵌銘 貞次磨上之/本阿(花押)(個人蔵)

昭和32年2月19日 重要文化財指定

鎌倉時代。大鋒（おおきっさき）、大磨上（おおすりあげ）。古（こ）青江（あおえ）派（は）貞次（さだつぐ）と極められた作。名物大青江と称される。

6 短刀 銘 江州甘呂／俊長（個人蔵）

昭和33年2月8日 重要文化財指定

南北朝時代。平造、三ツ棟で内反りのある短刀である。

7 下寺尾西方遺跡

平成31年2月26日 史跡指定（文部科学省告示第20号）

弥生時代中期後半の「宮ノ台式（みやのだいしき）」期（紀元前1世紀頃）に限られて営まれた環濠（かんごう）集落跡で、新しく拡大された段階では南関東最大級の規模となる。出土遺物には土器のほか石器と鉄器があり、利器が石器から鉄器へ移行していく時期の在り方を示している。南関東における中心的な集落の一つとして位置付けられ、弥生時代中期社会の様相を知るうえで重要である。

県指定文化財

8 浄見寺のオハツキイチョウ（堤4330 浄見寺墓地）

昭和36年3月14日 天然記念物指定

葉にギンナンが接して結実するイチョウの変種。昭和63年に行われた年輪調査から樹齢は200年前後と推定されているが、浄見寺の創建時に植えられたとも伝えられている。

9 鶴嶺八幡のイチョウ（浜之郷462）

昭和37年10月2日 天然記念物指定

鶴嶺八幡社は源頼義の創建と伝えられ、その子義家が戦勝祈願のため手植えたといわれている。昭和59年「かながわの名木100選」に選ばれている。県内有数の大木である。

10 浄見寺の銅造弁才天坐像（堤4317 浄見寺蔵）

昭和41年10月25日 重要文化財指定

像高11cmの小さな弁才天だが、銅造で六臂をもつ珍しい像とされている。鎌倉時代末期から室町時代にかけて造られたと考えられており、美術的にも優れている。

11 浄見寺の寺林（堤4318外 浄見寺境内）

昭和42年7月21日 天然記念物指定

人為的影響をあまり受けていない樹林の様子を残す寺林として貴重である。タブノキ、モチノキ、スダジイ、アラカシなどの照葉樹が多く見られる。

12 茅ヶ崎海岸浜降祭（南湖・西浜海岸）

昭和36年7月4日 県選択無形民俗資料

昭和51年2月9日 県選択無形民俗文化財

昭和53年6月23日 県指定無形民俗文化財

相模國一之宮寒川神社の神輿と、市内各神社の神輿が茅ヶ崎の海岸で一堂に会し、みそぎを行う祭礼。毎年7月に行われる祭礼では、早暁に40基ほどの神輿が海岸をねり歩き、多数の見物客でにぎわう。

13 堤貝塚（堤2719-2）

平成4年2月14日 史跡指定

相模湾沿岸に残る数少ない縄文時代の貝塚で、後期（紀元前4000年～3500年）の集落址を伴う。規模が大きく、保存状況も良好で、当時の生活を知る上で極めて重要かつ貴重な遺跡である。指定地（地積500㎡）はその一部分である。

- 14 八幡大神の庚申塔（承応3年：1654年）（甘沼292 甘沼八幡大神境内）
 昭和61年2月21日 市重要文化財指定
 平成18年2月14日 県有形民俗文化財指定（平成18年3月29日市指定解除）
 青面金剛像をその表に彫りつける形式の庚申塔の出現期のものである。四臂で、二猿を従えている。同様の庚申塔は今までに7基が知られており、本市の外、平塚市、寒川町、藤沢市に所在する。内1基は年号が分からないが、他は承応2年（1653年）から明暦4年（1658年）の間の年号銘をもつ。この庚申塔は、この7基の内の2番目に古い年号銘をもっている。
- 15 金山神社の庚申塔（承応4年：1655年）（行谷766-2 金山神社境内）
 昭和61年2月21日 市重要文化財指定
 平成18年2月14日 県有形民俗文化財指定（平成18年3月29日市指定解除）
 前記した八幡大神の庚申塔と同型式のもの。7基の内の3番目に古い年号銘をもつ。
- 16 神明宮の庚申塔（明暦4年：1658年）（十間坂3-9-47 神明宮境内）
 昭和61年2月21日 市重要文化財指定
 平成18年2月14日 県有形民俗文化財指定（平成18年3月29日市指定解除）
 前記した八幡大神の庚申塔と同型式のもの。7基の内の6番目に古い年号銘をもつ。

市指定文化財

- 17 浄見寺の大岡家一族墓所（堤4330 浄見寺墓地）
 昭和36年2月14日 史跡指定
 浄見寺は越前守忠相で有名な大岡家代々の菩提寺で、墓地の一画には初代忠勝からの墓など約60基が整然と立ち並ぶ。また、毎年4月には忠相の遺徳をしのび大岡越前祭が盛大に催される。
- 18 茅ヶ崎一里塚（元町5890）
 昭和36年8月15日 史跡指定
 江戸日本橋より14里目に当たる一里塚。昔は街道沿いの1里ごとに築かれていたが、道路の拡張、改修でほとんどが壊され、ここに残る塚は貴重なものである。
- 19 鶴嶺八幡宮参道および松並木（浜之郷732外）
 昭和44年8月15日 史跡と天然記念物の重複指定
 「八幡大菩薩佐塚大明神両社之記録」という古記録に、常光院の朝恵上人が慶安の頃（1648～52年）松を植えたとある。もとより当時の松はないが、松並木と参道は、平安時代の創建と伝えられる鶴嶺八幡社におもむきを与えている。
- 20 輪光寺の庚申塔（寛永17年：1640年）（円蔵2238 輪光寺境内）
 昭和44年8月15日 重要文化財指定
 市内の庚申塔の年号銘のあるものの中で、寛永17年という最古の年号を持っている。三猿を彫る庚申塔では全国的にみても古いものである。
- 21 民俗資料館（旧三橋家）（堤4318）
 昭和46年3月26日 重要文化財指定
 江戸時代末期の文政10年（1827年）に完成したという記録をもち、当時の建築様式をよく残した民家である。昭和47年に市内の香川から浄見寺の境内に移築し、翌年から一般公開している。
- 22 上正寺の木造聖徳太子立像（小和田2-12-73 上正寺蔵）
 昭和49年1月23日 重要文化財指定
 聖徳太子が2歳の時に、東を向いて「南無仏」と唱えたと、手の中から舍利（釈迦の遺骨）がこぼれたという話をモデルにしたもので、室町時代後期から江戸時代初期頃の作と考えられている。

- 23 旧寛永寺石燈籠（小和田2-1 2-7 3 上正寺境内、小和田公民館、市役所前庭）
～ 昭和49年1月23日 重要文化財指定
- 28 徳川家の菩提寺だった東京都上野の寛永寺には、諸大名から歴代将軍の供養として石燈籠が献上された。それらは寛永寺整備寄付の返礼として各地に贈られているが、その一環としてもたらされたものである。平成22年3月、大八木ふみ氏宅の1基が市に寄贈され移築された。
- 29 圓藏祭囃子（円蔵：圓藏祭囃子保存会）
昭和50年3月24日 重要文化財指定
祭囃子は以前は多くの地域で盛んだったが、戦中戦後にそのほとんどが中止した。円蔵では早くから保存会をつくり、その技能を現在までに伝承しており、後継者の育成にも努めている。創始、沿革は不明だが、明治以前から行われていたといわれている。
- 30 柳島エンコロ節（柳島：柳島エンコロ節保存会）
昭和51年1月22日 重要文化財指定
エンコロ節は、主として西日本の太平洋沿岸に「ヨイコノ節」と呼ばれて分布する芸能と同系統の祝唄である。その多くは港々に唄い継がれているが、県内では他に例をみない貴重な民謡である。土地の景観の全く変化した現在、昔柳島に港があったことを物語る大切な資料である。
- 31 南湖麦打唄（南湖：南湖麦打唄保存会）
昭和54年3月31日 重要文化財指定
麦打ちは、クルリを用いて麦を脱穀する作業である。作業の調子を整え、重労働をまぎらわせるために唄われたのが麦打唄である。江戸時代から昭和の中頃まで麦の収穫期には、広く各地で唄われてきたが次第に姿を消し、現在市内では南湖にのみ伝えられている。
- 32 芹沢焼米搗唄（芹沢：芹沢焼米搗唄保存会）
昭和54年3月31日 重要文化財指定
焼米とは、粳をふかして炒って臼でついてつくる。豊作を祈って神棚や仏壇に供えた。焼米搗唄は、臼でつく時に唄った作業唄である。立臼に千本杵でつくが、この時杵が臼の縁に当たって独特の音色がでる。以前は各地で行われていたと思われるが、今は市内では芹沢だけに残されている。
- 33 民俗資料館（旧和田家）（堤3882外）
昭和57年7月20日 重要文化財指定
改造が少なく、江戸時代末期の大型民家の姿をよく留めている古民家。旧所蔵者の和田家に伝わる古文書から、同家11代目当主清右衛門によって建築されたことが分かっている。「安政二年三月」（1855年）と墨書きされた棟札も残されている。昭和57年4月に市に寄贈され、市内の萩園から移築復元して、昭和60年4月から一般公開している。
- 34 腰掛神社の樹叢（芹沢2170外）
昭和61年2月21日 天然記念物指定
腰掛神社はうっそうとした樹林に囲まれており、その境内には植栽されたイチョウ、シイ、スギなどの大木もある。都市化の進んだ市内ではこのような樹叢は貴重なものである。
- 35 龍前院の五輪塔十基（浜之郷356 龍前院墓地）
昭和62年4月17日 重要文化財指定
鎌倉時代後期から南北朝時代初期（14世紀前半）にかけて順次造られたものと考えられるが、造られた由来は分かっていない。積みかえられた部分があるが、大きさは市内最大で、このような大型の五輪塔が10基もまとまってある例は県内でも珍しい。
- 36 龍前院の庚申塔（明暦3年：1657年）（浜之郷356 龍前院境内）
昭和62年4月17日 重要文化財指定
三猿像を彫った庚申塔ではごく初期のもので、市内にある同様の形態の猿を彫り出した

8基（明暦～寛文期）の中で最も古い。

37 龍前院の梵鐘（浜之郷356 龍前院境内）

昭和62年4月17日 重要文化財指定

江戸時代に浜之郷村の領主であった山岡氏の5代目が、早死にした弟の供養のために造らせたもので、元禄7年（1694年）の銘がある。第二次世界大戦中の供出も免れて、現在市内最古の梵鐘である。

38 上国寺の木造日蓮坐像（永正11年：1514年）（今宿488 上国寺蔵）

平成8年11月1日 重要文化財指定

全国の日蓮像のうちでも古い方に属し、市内の仏像彫刻のなかでは貴重な像である。像高32.0cm、袖張42.5cm、膝張り26.0cm、寄木造り、玉眼嵌入、頭部・体部共に前後矧ぎ、肩膝前は別木。像内の胎内頭部後面に、向かって右から「三月日／永正十一年／作之」と墨書銘がある。

39 常願寺の木造日蓮坐像（大永7年：1527年）（萩園1441 常願寺蔵）

平成8年11月1日 重要文化財指定

全国の日蓮像のうちでも古い方に属し、市内の仏像彫刻のなかでは貴重な像である。像高29.3cm、袖張37.1cm。彩色であったが、ほとんど剥落している。寄木造り・玉眼嵌入。像の敷く上げ臺台座の天板裏に、向かって右から「敬白 願主／大永七年丁宛（亥）四月十八日／小田原 徳乗房／日盛（花押）」と墨書銘がある。

40 信隆寺の木造日蓮坐像（永禄7年：1564年）（今宿841 信隆寺蔵）

平成8年11月1日 重要文化財指定

全国の日蓮像のうちでも古い方に属し、市内の仏像彫刻のなかでは貴重な像である。像高42.0cm、袖張65.6cm、膝張35.5cm、寄木造り、玉眼嵌入、彩色（後補）。頭体は1材を頸部で割りはなち、耳後ろで前後に矧ぐ。体部は6材を割り矧ぐ。胎内背面に、向かって右から「八月十三日／法主日口坊／南無妙法蓮華經／願主仏国寺善行坊／日受／敬白／干時永禄七年甲子」と墨書銘がある。

41 本社宮の庚申塔（明暦2年：1656年）（矢畑142 本社宮境内）

平成8年11月1日 重要文化財指定

笠付きの比較的珍しい形状の庚申塔。市内の有銘庚申塔では古い方から4番目に当たり、三猿を持つ庚申塔の、全国例の中で初期に位置付けることができる。

42 藤間家（近世商家）屋敷跡（柳島2-6-30）

平成25年3月15日 史跡指定

藤間家は代々柳島村の名主を務める中で、廻船業を営む商家として近世では江戸をはじめとした広範な商いを行った。当家では近世の石垣をはじめ、新たに発見された土蔵跡などの遺構が敷地内にそのまま包蔵されていることが確認されており、近世商家の状況を示す貴重な遺跡である。

43 堤貝塚出土の深鉢形土器（中海岸2-2-18 文化資料館内）

平成25年3月15日 重要文化財指定

神奈川県指定史跡の堤貝塚より出土したもので、縄文時代後期（堀之内Ⅰ式）の深鉢土器で堤貝塚を代表する土器であるとともに、本市において古くから知られている親しみのある資料である。

44 堤貝塚（東貝塚）（堤字十二天1467-1）

平成27年6月1日 史跡指定

堤貝塚のうち東貝塚においても、既に県指定されている西貝塚と同様、貝層や竪穴住居址が確認されているほか、土器や釣針、貝輪などが出土している。縄文時代後期における集落や活動の様相を示す遺跡で、相模湾岸において残されている縄文時代後期の数少ない貝塚の一つとして評価される。

45 本村居村遺跡出土木簡 (十間坂3-6-17 梅田文化財調査室・収蔵庫内)

平成27年6月1日 重要文化財指定

木簡の形態は短冊形のほか桶底や折敷を二次利用したものなど複数あり、文書木簡や習書木簡などの性格を有する。何らかの行事に際して作成された帳簿木簡など、作成時代や地域の実態を知ることができ、本市の歴史を知るうえで欠くことのできない資料である。

(4) 国登録有形文化財

1 茅ヶ崎館浴室棟、長屋棟、中二階棟、広間棟 (平成21年1月8日登録)

茅ヶ崎館は、湘南海岸を望む高台に建つ明治32年創業の老舗旅館で、映画監督・小津安二郎が定宿としていたことでも知られる。広間棟 (大正15頃築) の広間は30畳大で軽快な意匠の座敷飾りを備え、南西側に中二階棟 (同12頃築)、南東に長屋棟 (同15頃築、昭和8年移築) を配して中庭を囲む。広間棟後方の浴室棟 (大正15年頃) は数寄屋風意匠でまとめている。 (県文化財HPより)

2 藤間家住宅主屋 (平成27年3月26日登録)

昭和7年の建築で、建物は敷地の中央に東面する。洋間を玄関南脇のみに配するが、北脇の和室を含む東立面全体を下見板張の洋風意匠で統一されている。その他は、彫子 (ささらこ) 下見板張りとして和洋の意匠を対比的に採用している。平面は中廊下の前後に居室を並べている。設計者西村伊作の作風の一端を示す近代住宅。

なお、藤間家は江戸中期から名主を務めた豪農で、廻船業も手がけた。建築年代は棟札による。設計は西村建築株式会社、棟梁は石井兼吉。建設時の図面や書類が残る。

平成29年7月に、敷地と共に市に寄贈され、現在は民俗資料館旧藤間家住宅として開館し、外観が公開されている。

3 旧南湖院第一病舎 (平成30年3月27日登録)

明治32年の建築で、敷地北寄りに建つ木造二階建ての建物。矩形平面で北面に切妻屋根の玄関部、西面に階段室を張出して立面に変化を付けている。外壁は下見板張で上下窓を並べ、二階窓にペディメントを飾り、開口が多く採光通風に配慮している。療養地として著名な湘南で希少な明治期の結核病棟として評価を受けた。

なお、南湖院は明治32年に医師高田畊安が開設し、大正期には第11病舎までが建築され、東洋一の結核療養施設と謳われた。

4 旧氷室家住宅主屋 (平成30年11月2日登録)

昭和10年に建築された、敷地北寄りに建つ木造二階建ての建物。西側は板敷の洋室を中心とした開放的な造りとし、東側は床の間を配した和室や緩やかな勾配の軒などの和風意匠としている。洋室と和室の間には段差を利用した通気口が設けられており、通風に配慮した工夫が見られる。

三井不動産の元副社長氷室捷爾 (ひむろしょうじ) ・花子夫妻の庭園と共に市に寄贈され、茅ヶ崎市氷室椿庭園の一部として外観が公開されている。

3 保存管理

(1) 市指定文化財保存管理

市指定文化財の所有者と保管や活用の状況について確認をとり、継続して適切な管理をすることに努めた。

管 理 者	区 分	名 称
宗教法人 浄見寺 菱科 俊雄 藤間 克子	市指定史跡	浄見寺の大岡家一族墓所
宗教法人 輪光寺 関 光典	市指定重要文化財	輪光寺の庚申塔
宗教法人 上正寺 佐々木 泰弘	市指定重要文化財	上正寺の木造聖徳太子立像
宗教法人 上正寺 佐々木 泰弘	市指定重要文化財	旧寛永寺石燈籠
圓藏祭囃子保存会 亀井 利光	市指定重要文化財	圓藏祭囃子
柳島エンコロ節保存会 小川 勇次	市指定重要文化財	柳島エンコロ節
南湖麦打唄保存会 加藤 譲	市指定重要文化財	南湖麦打唄
芹沢焼米搗唄保存会 山口 敏子	市指定重要文化財	芹沢焼米搗唄
宗教法人 腰掛神社 石腰 浩之	市指定天然記念物	腰掛神社の樹叢
宗教法人 龍前院 赤間 浩正	市指定重要文化財	龍前院の五輪塔十基
宗教法人 龍前院 赤間 浩正	市指定重要文化財	龍前院の庚申塔(明暦3年:1657年)
宗教法人 龍前院 赤間 浩正	市指定重要文化財	龍前院の梵鐘
宗教法人 上国寺 望月 文敬	市指定重要文化財	上国寺の木造日蓮坐像(永正11年:1514年)
宗教法人 常願寺 森田 海玄	市指定重要文化財	常願寺の木造日蓮坐像(大永7年:1527年)
宗教法人 信隆寺 木村 邦佑	市指定重要文化財	信隆寺の木造日蓮坐像(永禄7年:1564年)
宗教法人 本社宮 川邊 久男	市指定重要文化財	本社宮の庚申塔(明暦2年:1656年)

(2) 文化財パトロール

国・県・市指定文化財を中心に巡回パトロールを48回行った。

令和元年	4月19日(金)	4月23日(火)	4月26日(金)	5月2日(木)
	5月20日(月)	5月21日(火)	5月23日(木)	5月30日(木)
	6月5日(水)	6月24日(月)	6月27日(木)	6月28日(金)
	7月11日(木)	7月12日(金)	7月17日(水)	8月13日(火)
	8月14日(水)	9月2日(月)	9月3日(火)	9月5日(木)
	9月6日(金)	9月9日(月)	9月10日(火)	9月12日(木)
	9月13日(金)	9月18日(水)	9月20日(金)	10月1日(火)
	10月2日(水)	10月10日(木)	10月12日(土)	10月13日(日)
	10月15日(火)	10月16日(水)	10月17日(木)	10月28日(月)
	11月1日(金)	12月4日(水)	12月18日(水)	12月19日(木)
	12月26日(木)			
令和2年	1月10日(金)	1月21日(火)	2月7日(金)	2月13日(木)
	3月9日(月)	3月11日(水)	3月16日(月)	

(3) 説明板設置

「5. ちがさき丸ごとふるさと発見博物館事業」で1基(37ページの(5)参照)、「6. 史跡・遺跡整備事業」で4基(44ページの(3)参照)、「7. 埋蔵文化財」で1基(54ページの(7)参照)の説明板を設置した。

(4) 郷土芸能伝承事業

市内の郷土芸能を広く市民に紹介し、同時に後継者を育成することを目的として実施している。

対象者 神奈川県立茅ヶ崎高等学校文楽部 乙女文楽の伝承事業

(5) 文化財保存用地管理

市指定文化財保存用地などの除草清掃、植木の剪定などを行った。

- ・旧相模川橋脚用地（駐車場含む）
- ・茅ヶ崎一里塚用地
- ・茅ヶ崎市民俗資料館（旧三橋家、旧和田家）用地
- ・湘南道路の碑の設置用地
- ・堤貝塚保存用地
- ・浜之郷のへび塚保存用地
- ・円蔵モニュメント用地
- ・芹沢の大久保遺跡用地
- ・鶴嶺参道歴史ひろば

(6) 文化財保護に関する啓発

文化財防火デー（１月２６日）に伴い、令和２年１月２４日（金）に国登録有形文化財民俗資料館（旧藤間家住宅）において予防課と共催で消防訓練を実施した。

実施内容は、①火災発生時に取るべき対応を考える（ワークショップ方式）、②消防設備の説明、③初期消火訓練、④消火器の使い方説明・使用訓練、⑤１１９番通報訓練、⑥消火栓・移動式ホース格納箱の取扱訓練、⑦予防課による講話で、参加者は旧藤間家調査員、柳島いまむかし会有志、地元自治会有志を含め、計２７人だった。

4 普及事業

(1) 第４７回茅ヶ崎市郷土芸能大会

市内の郷土芸能（民俗芸能）の伝承と公開を目的に、委託事業として実施した。

実施日	令和元年１月２４日（日） 午後１時～４時
会 場	茅ヶ崎市民文化会館小ホール
委託先	茅ヶ崎郷土芸能保存協会（会長：青木 昭三 氏）
演 目	一人遣い文楽「寿式二人三番叟」（県立茅ヶ崎高校文楽部）、茅ヶ崎の民話「加賀屋敷のお地藏様」（茅ヶ崎民話の会）、茅ヶ崎ふるさと音頭（茅ヶ崎レクリエーション民踊協会）、柳島御座敷甚句（柳島エンコロ節保存会）、圓藏ばか踊り（圓藏祭囃子保存会・岡崎部会）、芹沢焼米搗唄（芹沢焼米搗唄保存会）、上赤羽根甚句（上赤羽根太鼓保存会）、南湖餅搗唄（南湖餅搗唄保存会）、南湖麦打唄（南湖麦打唄保存会）、上赤羽根祭囃子（上赤羽根太鼓保存会）、芹沢ササラ盆唄（芹沢焼米搗唄保存会）、圓藏祭囃子（圓藏祭囃子保存会）、柳島大漁船上げ唄（柳島大漁船上げ唄好友会・中島中学校生徒）、柳島エンコロ節（柳島エンコロ節保存会・中島中学校生徒）
司 会	八幡 聖美 氏
観覧者	４３４人
その他	観覧者アンケートを実施した。

(2) 文化財講演会

茅ヶ崎市内には、茅ヶ崎の歴史や人々の暮らしを知る上で重要な文化財が多く所在しているが、こうした文化財等について普及啓発を行い、文化財への理解を深める機会とすることで、広く市民への周知を図り、地域の文化財を保護し、次世代に引き継ぐ意識の浸透と啓発を図ることを目的として、文化財講演会を実施した。

- 1 平成30年度に「下寺尾西方遺跡」が、弥生時代の環濠集落跡として国史跡の指定を受けている。「下寺尾官衙遺跡群」と重なって所在する「下寺尾西方遺跡」の評価について、講演会を実施した。

「東アジアのなかの南関東弥生文化」

実施日 令和元年6月22日(土) 14時～16時

会場 茅ヶ崎市役所本庁舎4階会議室3

講師 寺前 直人氏(駒澤大学文学部教授)

参加者 95名

- 2 下町屋に所在する「旧相模川橋脚」は、史跡及び天然記念物として二つの国指定を受けている。「旧相模川橋脚」を題材としながら、文化財が持つ価値の多様性について講演会及び現地見学を実施した。

「旧相模川橋脚が持つ価値の多様性 ～二つの国指定を受けた旧相模川橋脚～」

実施日 令和元年10月20日(日) 10時～11時30分(講演会)

13時30分～14時30分(現地見学)

会場 高砂コミュニティセンター3階ホール・旧相模川橋脚

講師 大村 浩司(社会教育課)

参加者 50名

5 ちがさき丸ごとふるさと発見博物館事業

ちがさき丸ごとふるさと発見博物館事業は、市内全体を屋根も壁もない博物館と見立て、地域の文化・歴史・自然・観光などを都市資源として活用し、まち全体を活性化させ、まちを愛する人々を増やすことを推進している。

(1) ちがさき丸ごとふるさと発見博物館アクションプロジェクト活動状況

市民と行政による事業推進体制を立ち上げ、「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館事業の指針」に謳われた幅広い取り組みを推進していけるよう、事業の企画運営を行った。

市民との協働による会議開催回数 11回

(2) 企画展「つながるちがさき2020」

市民ボランティアが中心となって企画・運営し(※)、期間を限定して多様な主体が茅ヶ崎の魅力を一体的に発信するキャンペーン事業。平成24年度からスタートし8回目を迎えた。

テーマは「つながるちがさき2020(に一まるに一まる)」。市役所1階市民ふれあいプラザをメイン会場に、講座やまち歩き、都市資源展示等、多様な視点から茅ヶ崎にまつわる都市資源について学ぶ機会を設けました。

※企画運営について

市民と行政による協働事業推進体制「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館アクションプロジェクト」を中心とした市民ボランティアが主体となり、企画・運営を進めた。

期間：令和2年2月14日(金)～令和2年2月19日(水)

会場：市役所市民ふれあいプラザ

参加者総数：528人(パンフレット配布数2,800部)

- ・オープニング講演会「オリンピックと茅ヶ崎」
 実施日：令和2年2月14日（金）12：00～14：00
 会 場：市民ふれあいプラザ
 講 師：平山 孝通 氏（郷土歴史家）
 参加者：29人
- ・講座「茅ヶ崎の東海道について」
 実施日：令和2年2月14日（金）14：30～16：00
 会 場：市民ふれあいプラザ
 案内役：ちがさき丸ごとふるさと発見博物館・ガイド部会
 参加者：36人
- ・まち歩き「茅ヶ崎の東海道を歩く（西編）」
 実施日：令和2年2月15日（土）9：00～12：30
 コース：新田入口（バス停）～市役所付近
 案内役：ちがさき丸ごとふるさと発見博物館・ガイド部会
 参加者：16人
- ・子どもワークショップ「えぼし麻呂誕生秘話～オリジナルキャラクターを考えよう～」
 実施日：令和2年2月15日（土）10：00～11：45
 会 場：市民ふれあいプラザ
 案内役：三町 永則 氏（えぼし麻呂作者）
 参加者：12人
- ・講座「郷土の歴史を訪ねて～白浪五人男～」
 実施日：令和2年2月15日（土）13：30～15：00
 会 場：市民ふれあいプラザ
 講 師：長嶺 敬子 氏（ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の会）
 参加者：35人
- ・「かながわエコミュージアムフォーラム2020」
 実施日：令和2年2月16日（日）13：00～16：00
 会 場：市民ふれあいプラザ
 内 容：（1）オープニングスピーチ
 （2）神奈川県におけるエコミュージアム事例発表
 三浦半島まるごと博物館
 金目エコミュージアム（平塚市）
 ちがさき丸ごとふるさと発見博物館
 （3）基調講演：講師 大原 一興 氏（横浜国立大学大学院教授）
 （4）パネルディスカッション
 参加者：32人
- ・講座「茅ヶ崎の海岸と自然環境」
 実施日：令和2年2月17日（月）10：00～11：30
 会 場：市民ふれあいプラザ
 講 師：馬谷原 武之（市文化資料館）
 参加者：30人
- ・「復刻上演・川上音二郎版『沙翁悲劇ハムレット』を観る」
 実施日：令和2年2月17日（月）・18日（火）12：15～13：00
 会 場：市民ふれあいプラザ
 解 説：清水 友美 氏（音貞オッペケ祭実行委員（劇中音楽作曲・女優））
 参加者：延べ29人

- ・ 講座「円蔵と懷島景能」
 実施日：令和2年2月17日（月） 13：30～15：00
 会 場：市民ふれあいプラザ
 講 師：小室 正明 氏（円蔵誌発刊者）
 参加者：40人
- ・ 講座「茅ヶ崎の鎌倉古道について」
 実施日：令和2年2月17日（月） 15：30～16：30
 会 場：市民ふれあいプラザ
 案内役：ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の会
 参加者：38人
- ・ まち歩き「茅ヶ崎の鎌倉古道を歩く」
 実施日：令和2年2月18日（火） 10：00～12：00
 コース：旧相模川橋脚～市役所付近
 案内役：ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の会
 参加者：23人
- ・ 講座「未来をつくる茅ヶ崎の子どもたち・今を生きる地域」
 実施日：令和2年2月18日（火） 10：30～11：30
 会 場：市民ふれあいプラザ
 講 師：津田 眞利 氏（特別非営利法人こども応援丸代表）
 参加者：16人
- ・ 講座「エメロードの歴史」
 実施日：令和2年2月18日（火） 13：30～15：00
 会 場：市民ふれあいプラザ
 講 師：加藤 信吾 氏（茅ヶ崎銀座商興会会長）
 参加者：28人
- ・ 講座「茅ヶ崎と花」
 実施日：令和2年2月18日（木） 15：30～16：30
 会 場：市民ふれあいプラザ
 講 師：布川 貞美 氏（ちがさき丸ごとふるさと発見博物館友の会）
 参加者：21人
- ・ 講座「湘南の地質」
 実施日：令和2年2月19日（水） 10：00～11：30
 会 場：市民ふれあいプラザ
 講 師：野崎 篤 氏（平塚市博物館学芸員）
 参加者：36人
- ・ ピアノコンサート「茅ヶ崎ゆかりの音を聴く」
 実施日：令和2年2月19日（水） 12：15～12：45
 会 場：市民ふれあいプラザ
 出 演：清水 友美 氏（茅ヶ崎市出身のピアニスト・作曲家）
 参加者：48人
- ・ 講座「重なる史跡 茅ヶ崎下寺尾遺跡群」
 実施日：令和2年2月19日（水） 13：30～15：00
 会 場：市民ふれあいプラザ
 講 師：大村 浩司（市教育委員会社会教育課）
 参加者：30人
- ・ クロージングイベント

実施日：令和2年2月19日（水）15：30～16：30

会 場：市民ふれあいプラザ

参加者：29人

・展示

「茅ヶ崎を知る展示」と題し、茅ヶ崎の都市資源を展示。またガリバーマップ（大きな地図）を置き、来訪された方に「わたしの都市資源（まちの宝もの）」を書き込んでもらう参加型展示も実施した。企画展を通して、茅ヶ崎の魅力が詰まった地図ができあがった。

- ・スタンプラリー記念品交換者（講座やまち歩きに参加し、スタンプを4個以上集めた方）：179人

（3）ちがさき丸ごとふるさと発見博物館講座（基礎編）

茅ヶ崎市民を対象に、「これから茅ヶ崎について1から学びたい」というレベルの茅ヶ崎を知るための基礎講座を2期（5月期、10月期）開催した。茅ヶ崎の歴史、文化、自然等の都市資源の総論を学び、それからどのジャンルで学びを深めていくにしろ、役立つ基礎知識をつけることができる内容とした。

受講者：35人（5月期：28人・10月期：7人）

【5月期全11回】 ①5月31日（金）、②6月 7日（金）、③6月14日（金）
④6月21日（金）、⑤6月28日（金）、⑥7月 6日（金）
⑦7月12日（金）、⑧7月19日（金）、⑨7月26日（金）
⑩8月 2日（金）、⑪8月 9日（金）

【10月期全11回】 ①10月 2日（水）、②10月 9日（水）、③10月16日（水）
④10月23日（水）、⑤10月30日（水）、⑥11月 6日（水）
⑦11月20日（水）、⑧11月27日（水）、⑨12月 4日（水）
⑩12月11日（水）、⑪12月18日（水）

（4）まち歩き企画

ちがさき丸ごとふるさと発見博物館アクションプロジェクト・ガイド部会等による自主企画「丸ごと博物館まち歩き」を開催した。

まち歩き①「茅ヶ崎の東海道を歩く（西編）」（新田入口バス停～市役所付近）

実施日：令和2年2月15日（土）9：00～12：30

（企画展「つながるちがさき2020」内で実施）

案内役：ちがさき丸ごとふるさと発見博物館アクションプロジェクト・ガイド部会

参加者：16人

まち歩き②「茅ヶ崎の東海道を歩く（東編）」（二ツ谷バス停～茅ヶ崎駅周辺）

実施日：平成31年3月14日（土）9：00～12：30

案内役：ちがさき丸ごとふるさと発見博物館アクションプロジェクト・ガイド部会

参加者：コロナウイルス感染拡大予防のため中止

（5）サイン設置事業

現在茅ヶ崎市の公共サイン計画が検討されており、文化財等の説明板を中心に設置を進めている。市内に点在している都市資源を関連づけ、児童・生徒、市民や市を訪れる人に紹介するため、都市資源を説明する説明板や案内柱を設置し、管理している。

令和元年度説明板設置箇所

- ・南湖院

(6) 広報活動

ホームページ

ちがさき丸ごとふるさと発見博物館アクションプロジェクトの活動や都市資源を随時紹介している。

(7) ウェブサイト MaruhakuTV

平成28・29年度行政提案型協働推進事業「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館講座の動画配信及び事業PR」で構築したウェブサイト「MaruhakuTV」(<https://www.maruhaku.tv>)を、平成30年度からウェブサイトの運用業務委託を実施。委託団体はNPO法人湘南スタイル。

セッション数(通算訪問回数)：9,480回(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(8) ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の会の活動

- ①行政からの依頼事業 13件
- ②一般団体からの依頼事業 7件
- ③自主学習会事業 3回
- ④ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の会自主事業8回

(9) ちがさき丸ごとふるさと発見博物館友の会の活動

ちがさき丸ごとふるさと発見博物館講座(基礎編)の修了生による同窓会的組織が平成28年9月28日(水)に設立された。

当事業が開催するイベントのボランティアスタッフや自主学習会等の活動を行い、ちがさき丸ごと博物館事業を盛り上げている。

- ・自主学習会 4回
- ・自主散策 4回

(10) ちがさき丸ごとふるさと発見博物館のシンボルマークの活用

ちがさき丸ごとふるさと発見博物館事業のより広い普及を図るため、ちがさき丸ごとふるさと発見博物館事業を主催する、又は共感し賛同する者に対して、次のシンボルマークの使用を承認している。



作者 酒井ひろみさん(茅ヶ崎市在住)

※シンボルマークは、平成17年(2005年)に、「茅ヶ崎らしい人とのつながり 楽しい雰囲気 遠くからでもわかる」の4つの事柄をテーマに募集、検討委員会で選考し決定。

6 史跡・遺跡整備事業

(1) 国指定史跡・天然記念物 旧相模川橋脚保存活用事業

下町屋に所在する「旧相模川橋脚」は、関東大震災で出現したという全国的にも貴重な遺跡である。橋脚の一部に傷みが見られたことから、国・県の協力を得ながら平成13年度より平成19年度まで保存整備を実施し、その後公開活用され多くの来跡者を得ている。また、本遺跡は史跡に加え、関東大震災の地震痕跡を有するという内容で天然記念物としての評価も得て、平成25年3月27日付けで国の天然記念物の指定を受けている。

①維持管理

史跡地および周辺地区の保存管理のための点検と清掃を行った。

②公開普及等

えのしま・ふじさわポータルサイト紹介ページ及び基礎ジャーナル社新聞「建設基礎」記事資料として、資料を提供した。

(2) 国指定史跡 下寺尾官衙遺跡群・下寺尾西方遺跡保存活用事業

茅ヶ崎市北西部に位置する下寺尾地域には、七堂伽藍跡や西方遺跡が所在しており、昭和32年には地元関係者の手により七堂伽藍跡の記念碑が建立されるなど古くから関心の高い場所であった。市教委では、平成12年度から七堂伽藍跡の確認調査を重ね、伽藍域や主要建物を明らかにしてきた。また、県立茅ヶ崎北陵高校建替工事に伴う調査では西方遺跡内で古代官衙遺跡が発見され、高座郡家と比定された。

市ではこれらの遺跡を下寺尾遺跡群として重要遺跡に位置付け、保存整備に向けた手続きを進めた結果、「官衙遺跡の全体像が把握できるとともに、その成立から廃絶に至るまでの過程が確認できる稀有な遺跡で、地方官衙の構造や立地を知る上で重要である」として、平成27年3月10日付けで国の史跡の指定を受けた。

また、下寺尾官衙遺跡群の高座郡家域と重なる位置に弥生時代の環濠集落が確認されており、調査及び国県との協議・手続きを進めた結果、弥生時代中期後半の「南関東における中心的な集落の一つとして位置付けられ、弥生時代中期社会の様相を知るうえで重要な遺跡」として、平成31年2月26日付けで国の史跡の指定を受けた。

令和元年度の主な事業内容は以下の通りである。また、以下の事業の他、県との協議、庁内各課との調整、開発に伴う調整、保存整備に向けた基礎調査を進めた。

ア 下寺尾遺跡群保存・活用部会

史跡下寺尾官衙遺跡群をはじめとする下寺尾遺跡群の保存活用を進めるにあたって、文化庁ならびに神奈川県教育委員会の指導のもと平成27年度に文化財保護審議会の下部組織として下寺尾遺跡群等保存・活用部会を設置した。部会の構成と開催内容は以下の通りである。

下寺尾遺跡群保存・活用部会委員

近藤 英夫（東海大学）	考古学
五味 文彦（東京大学）	歴史学
岡本 孝之（神奈川県考古学会）	考古学
田尾 誠敏（東海大学）	史跡整備・考古学
荒井 秀規（藤沢市教育委員会）	古代史
宮瀧 交二（大東文化大学）	博物館学・古代史
寺前 直人（駒澤大学）	考古学
箱崎 和久（奈良文化財研究所）	建築史
佐藤 次男（下寺尾自治会）	市民

オブザーバー

文化庁記念物課

神奈川県教育委員会文化遺産課

開催内容

第1回部会

日時 令和元年6月17日(月) 14:30～17:00

場所 茅ヶ崎市役所本庁舎5階 研修室

議題1 「(仮称)下寺尾遺跡群保存活用にかかる基本方針」について

2 2019年度確認調査について

3 仮整備について

4 2019年度下寺尾関係事業について

第2回部会

日時 令和元年9月16日(月) 13:30～17:00

場所 茅ヶ崎市役所本庁舎4階 会議室1

議題1 下寺尾西方遺跡の保存活用計画について

2 史跡確認調査について

3 公開普及事業について

第3回部会

日時 令和元年11月10日(日) 14:00～17:00

場所 史跡確認調査現地・茅ヶ崎市役所分庁舎5階 特別会議室

議題1 下寺尾官衙遺跡群史跡確認調査の現地視察について

2 史跡下寺尾西方遺跡保存活用計画について

第4回部会

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止

イ 史跡確認調査事業

遺跡の保存状況や配置を確認するため、神奈川県教育委員会の協力を得ながら、県立茅ヶ崎北陵高校史跡指定地内で発掘調査を実施している。成果は調査研究に活用するだけでなく将来の史跡整備に向けた資料としても活用するほか、現地説明会等を通じて公開普及に役立てている。

・西方遺跡第7次確認調査

1 調査期間 令和元(2019)年9月13日～12月26日

(事前測量～完了立会の期間)

表土掘削開始日 令和元(2019)年9月30日

2 調査地点 茅ヶ崎市下寺尾549番2ほか(県立茅ヶ崎北陵高校内)

3 調査主体 茅ヶ崎市教育委員会

調査補助 (公益財団法人)茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団

調査協力 神奈川県教育委員会

4 調査担当 加藤大二郎、鈴木綾、大村浩司(市社会教育課)

5 調査面積 471.87 m²

6 遺跡の位置と概要

西方遺跡は、茅ヶ崎市北西部の下寺尾地区に所在し、地形的には相模原台地が西に向かって舌状に延びる平坦な部分に立地しており標高は約13mをはかる。なお、一部北西部分は地形的には台地斜面と河道に該当する。神奈川県・茅ヶ崎市遺跡台帳によれば、西方遺跡は時代が縄文時代・弥生時代・古墳時代・奈良・平安時代、中世、近世、種別は集落跡と官衙跡と記さ

れている。

7 調査の経緯と経過

茅ヶ崎市教育委員会では、指定後の保存活用に関わる資料蓄積を進めていくため、平成 27 年度より旧校舎部分における状況を把握することを目的とする確認調査を実施している。今回の調査は旧校舎部分で 5 地点目および 6 地点目にあたり、平成 29 年度の東側隣接地区（A 区）および平成 29 年度調査で確認された溝状遺構の南側延長部（B 区）で行った。調査は、茅ヶ崎市教育委員会が調査主体となり、神奈川県教育委員会及び神奈川県立茅ヶ崎北陵高校の協力を得て実施した。

調査は以下の目的を持って実施した。

(1) 遺跡に関して

- ① 平成 29 年度以前の調査成果を踏まえ、郡家内西側の掘立柱建物群の確認。
- ② 官衙以前（古墳時代後期）と以後（中世）における遺跡状況の確認。
- ③ 重層している他時代（縄文時代、弥生時代、近世、近現代）の遺跡状況の把握。

(2) 環境に関して

- ① 本遺跡群が立地する地形状況の把握。
- ② 官衙関連遺構の土地利用について検討。

(3) 整備に関して

- ① 遺跡の残存状況の把握。
- ② 旧校舎等の建造物の内容と攪乱状況の観察。

(4) 公開活用について

- ① 確認調査の現地見学会を通して史跡および発掘調査への理解を深める。

8 土層

調査地区の土層堆積状況は、概ね以下のとおりである。I 層の上部には高校に関わる埋土や客土が観察できた。調査の目的であった古代関連遺構は A 区Ⅳ層、B 区Ⅲ層を掘り込んで構築されている。また、攪乱部分ではより下位に堆積する弥生時代以前からローム層までの土層を確認することができた。

A 区

I 層	褐色土（10YR4/4）	宝永パミス多く含む。しまり強い。粘性ほぼなし。近世後半以降の包含層。
II 層	黒褐色土（10YR2/3）	しまりやや弱い。粘性あり。パミス（宝永でない）少量含む。橙色スコリアわずかに含む。中世包含層。
Ⅲ層	黒褐色土（10YR3/1）	粘性強く、土粒密。しまりやや弱い。橙色スコリア少量含む。古代包含層。
Ⅳ層	黒褐色土（10YR3/1）	粘性強く土粒密。しまり弱い。橙色スコリア含む。
V 層	黒褐色土（10YR3/1）	粘性弱い。しまり極めて強い。橙色スコリア（やや大）を非常に多く含む。パミス含む。官衙より古い堆積土。
Ⅵ層	褐色土（10YR4/4）	しまり極めて強い。粘性極めて強く土粒密。橙色スコリア含む。ローム層直上。

B 区

I 層	灰黄褐色土（10YR4/2）	宝永パミス多く含む。しまり強い。粘性弱い。近世後半以降の包含層。
II 層	黒褐色土（10YR2/3）	しまりやや強い。粘性あり。橙色スコリア少量含む。パミス少量含む。古代包含層。
Ⅲ層	暗褐色土（10YR1/3）	しまり増す。粘性あり。橙色スコリアやや増す。パミス減じる。白色スコリア少量含む。弥生時代包含層

IV層 黒褐色土 (10YR2/2) しまり極めて強い。粘性あり。橙色スコリア非常に多く含む。白色スコリア多く含む。

V層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) しまり増す。粘性極めて強い。橙色スコリア、白色スコリア多く含む。

VI層 暗褐色土 (10YR3/4) しまり、粘性増す。橙色スコリア少ない。

VII層 明褐色ローム (7.5YR5/8) 極めてしまり強い。粘性強い。スコリア多量に含む。

9 調査結果の概要

今回の確認調査では、主目的であった古代の遺構のほか、縄文時代、弥生時代、中世、近世、それに旧校舎関連遺構について資料を得ることができた。ここでは、中世から弥生時代における主要遺構・遺物について、その概要を述べることにする。

A区主要遺構・遺物

整地遺構

溝状遺構の西側（A区中央）において、明褐色土を主体とする土層が幅約3.5m東西約19mの広範囲で確認され、この土層を整地遺構とした。土層観察用のベルトを設定し面的に調査を実施したところ、色調の濃い範囲が明確になり、濃い部分が柱穴状に並び、掘立柱建物址1となった。整地遺構については、掘立柱建物址1を廃絶後に埋め、一帯を整地した痕跡の可能性が高い。整地遺構覆土中からは円面硯が出土しており、官衙成立以後、中世（溝状遺構1）以前に整地されたと考えられる。

掘立柱建物址1

整地遺構下から検出されたもので、調査区外南側まで展開していく建物と考えられる。調査区内で確認された柱穴列は西側及び北側は溝状に柱穴同士が結ばれていたが、東側と北側の間に溝状の遺構は確認されなかった。時期については出土遺物が少ないが、中世の溝状遺構1、中世以前の整地遺構より古く、中世遺物の出土はないことから、古代に属すと考えられる。詳細に時期については出土遺物の検討が今後必要であるが官衙に関連する建物の可能性は高いと考えられる。

掘立柱建物址2

調査の主目的の一つとなっていた第4次調査東端で検出されていた平安期の柱穴が建物址の可能性のあるかの確認の結果、同様の覆土のピットがA区西側に密集して確認された。その中から平面図の観察から可能性が高いものを掘立柱建物2とした。掘立柱建物2は東西2間×南北2間以上の建物址と考えられる。9世紀後半以降と推測している。

中世遺物包含層

これまでに北陵高校旧校地内で実施された調査では、中世の包含層として明確に把握されたものはなく、近世の耕作痕直下には古代の包含層が所在していた。A区ではII層に中世の陶器を含む。また、II層内はA区全体に礫が散在する。

礫集中範囲

II層内に礫が散在する中で、調査区東部において礫が集中する範囲が存在した。明確な掘り込みは確認されなかったが、礫集中下の土層からわずかに中世の土器を含んでいる。ただし、礫自体は古代の遺構に伴う可能性があり、中世遺物包含層に散在する礫も古代に利用されていた礫が中世段階で散った可能性がある。礫自体はA区全体に散っているため、集中度の高い部分を礫集中範囲とした。

ピット27

礫が集中した範囲の東側においてピット27を確認した。ピット27は中世包含層よりも新しいが宝永火山灰、軽石を含まない中世の遺構と考えられ、礫が充填されていた。同様のピットはA区内では確認されなかったが、校舎建築に伴う大規模な攪乱の南脇で検出されたことから、北側に展開していた可能性があり、単独のピットでなければ、充填されていた礫が礎石建物の根石であった

可能性がある。充填されていた礫自体が周りに集中、あるいは散在している礫と供給元が同一かは現時点では不明である。

溝状遺構 1

調査区東部において、概ね南北方向の溝状遺構を検出した。幅は約 2.3m～2.6mであり、出土した土器の大半は古代の土器であったが、下部から中世の可能性のある土器片が出土している。詳細な時期については今後土器の検証が必要である。

溝状遺構 2

調査区東端において、溝状遺構 1 と覆土が近似する遺構の一部が検出された。出土遺物の中に円面硯があり、整地遺構出土の円面硯と意匠が近似していることから、接合しないが同一個体の可能性がある。部分的な検出のため詳細は不明だが、覆土は溝状遺構 1 と似ているものの、溝状遺構 1 の覆土自体は整地遺構の覆土と色味以外は近似していた。また、出土遺物に古代より新しい遺物が見られないことから、本遺構は掘立柱建物等に関連する可能性もある。しかしながら、本調査区内東端での限られた確認状況から、本概要報告時点では溝状遺構として整理している。

竪穴建物址 1

第 4 次調査の東端において検出されていた古墳時代後期の竪穴建物址の東側を A 区において検出した。平面規模は 6.2m×5.7mであり、7 世紀後半と推定している。

竪穴建物址 2

掘立柱建物址 1 の西側と重複する位置において 1 辺約 4.7mの竪穴建物址を検出した。時期は古墳時代後期と考えられる。

特徴的な出土遺物

・墨書土器「厨」

「厨」と書かれた墨書土器（土師器坏）が出土した。調査中の層位はⅡ層であり、散在する礫と隣り合って出土している。Ⅱ層は中世の文化層であるが、溝状遺構 1 の立ち上がりが緩やかで、溝状遺構の覆土上層に位置していた可能性がある。その場合は原位置からの出土ではない可能性が高い。しかしながら、出土地点周辺の遺構に関連する可能性は高いと考えられる。

出土層位については、礫集中、散在状況の整理、同一土層内及び周辺遺物の検討が必要である。

当市文化財保護審議会委員田尾氏より、9 世紀第 2 四半期から中頃の土師器相模型坏と推定される。

・円面硯

整地遺構及び溝状遺構 2 から同一個体の可能性がある円面硯（須恵器）が出土した。校門付近においてかながわ考古学財団で調査された際に出土した円面硯とも意匠が近似している。

・青銅製品

古代包含層以下であったが、遺構確認面よりも上位で出土したため、出土層位及び遺構覆土であるかは検討中だが、つまみ状の青銅製品が出土した。厨子等の装飾の可能性が示唆されており、出土位置の整理、類例の調査が必要である。

B 区主要遺構

調査区中央は校舎の渡り廊下により関東ローム層まで攪乱を受けていたため、便宜的に渡り廊下を境に東側、西側と呼称する。

溝状遺構 3

調査区東側の西部において溝状遺構を検出した。9 世紀後半から 10 世紀の遺物を含んでおり、B 区の主目的であった第 4 次調査の溝状遺構と同一の遺構である可能性が高い。第 4 次調査検出の溝状遺構の詳細を明らかにすることを目的に調査区を設定したが、B 区内では古墳時代の竪穴建物址と弥生時代の竪穴住居址、近世の溝状遺構や土坑、ピット群、校舎基礎、渡り廊下の攪乱と重複しており、溝状遺構の性格については不明確であった。概ね 4 次調査区から直線的に伸びている位置

に存在する。また、第4次調査では北から南に向かって緩やかに底面が上がっていたことから、当該遺構の底面の標高差は同一遺構ととらえられる範囲の違いである。幅については溝西側は攪乱されていたが、竪穴建物址3の南側において確認面より低い位置で立ち上がりが確認できた。そのため、確認面の高さの差がある中で確認できた幅は3.2mである。第4次調査で確認された溝状遺構は幅が約2.5mであったが、南に向かって広がる傾向がみられていたため、本遺構と同一の遺構である可能性は高いと考えられる。

溝状遺構4

B区東端において9世紀後半から10世紀頃の遺物を多量に含む遺構を確認した。当市文化財保護審議会下寺尾遺跡群等保存活用部会の指導を受け、南東部の一部拡張、北側校舎基礎による攪乱部分の拡張を行ったが、南東部では溝状遺構の東端は確認されず、北側攪乱を利用した拡張部における土層観察では、近世の遺構が溝状遺構4の立ち上がり部に重なっており、東端を確認することはできなかった。そのため東西規模が不明なため、溝状遺構ではなく、大規模な竪穴状遺構の可能性はあるが、南北幅が6.5m以上あることを考慮し、溝状遺構とした。

竪穴建物址1

B区東側の北西壁面において、溝状遺構3の下部にロームブロックを多量に含む古墳時代後期の竪穴建物址を検出した。渡り廊下東側攪乱部に柱穴が1穴、渡り廊下内に柱穴が1穴確認された。大部分が攪乱されており、詳細な規模は不明である。

竪穴状遺構

B区西側においては、奈良・平安時代の遺物はほとんど出土せず、古墳時代後期～弥生時代の遺物が出土した。西端において検出した遺構は古墳時代後期の竪穴住居址の可能性が高いが、カマドの有無、規模等は本調査区内では不明なため、竪穴状遺構とした。

竪穴住居址1

B区東側において、弥生時代の竪穴住居址を1軒検出した。覆土は第3次調査の際に検出された弥生時代の竪穴住居址と酷似しており、上部に軽石が多量に含まれる特徴がある。古代の溝状遺構3、4に挟まれる位置において検出したため、古代遺構に影響を与えない範囲のみ掘り下げた。図上で実線で示した部分は平面確認ができ、破線部分は断面と平面確認端を結んだものである。出土遺物及び覆土から、弥生時代中期宮ノ台式期の住居址と考えられる。

10 小結

今回の調査は、今後の史跡の保存活用に必要な資料を蓄積するために行ったもので、以下、調査目的に沿ってその結果を述べることにする。なお、本報告は調査時における所見であることをお断りしておきたい。

(1) 郡家内西側の状況について

A区における掘立柱建物址1の存在から郡家内西側と館・厨と想定されている建物群の間においても、官衙関連建物の可能性が高い建物址を確認することができた。さらに、建物外東側から「厨」の墨書土器が出土しているおり、建物の性格が厨であった可能性が出てきた。しかしながら、出土層位が中世遺構の包含層の可能性が高いこと、出土位置東側にも建物址が存在する可能性があることから、掘立柱建物址1を厨と断定はできない。掘立柱建物址の時期は出土遺物から第4次調査で確認された建物址（7世紀後半～8世紀初め）よりも新しい可能性が高いが、中世の遺構、遺物が周辺に展開していることから、時期については出土遺物及び整地遺構の内容を踏まえながら検討したい。

また、B区東側では第4次調査の溝状遺構の同一遺構と考えられる溝状遺構を確認した。性格は特定できていないが9世紀後半から10世紀代の遺物が覆土上面で確認されており、さらに東側には同時期の遺物が多量に含まれる溝状遺構を確認した。官衙の存続時期を考える上で重要な資料になると思われる。

さらに、竪穴建物を3軒確認したが、時期的には7世紀後半代のものと思われる。

(2) 地形について

A 区においては東に向かって緩やかに高く傾斜し、B 区では南に向かって高く傾斜する傾向を把握した。

(3) 重層する遺構について

これまでに行われた県立北陵高校地内の調査では中世の遺構・遺物はほとんど確認されてこなかったが、今回調査を実施した A 区では中世の遺構、遺物包含層を確認することができた。過去に実施した調査区とつながる調査区の設定としていることから、過去の調査における土層についても再検討が必要と考えられる。

また、史跡下寺尾西方遺跡の環濠集落に関連すると思われる弥生時代中期の竪穴住居址を B 区において 1 軒確認した。

B 区東側において、浄化槽によると思われる攪乱が確認され、攪乱を除去して壁面観察を行ったところ、縄文時代の竪穴住居址に関連する可能性の高いピット群を検出した。

(4) 旧校舎関連遺構について

旧校舎の基礎及び渡り廊下の基礎を検出したほか埋設管も確認した。また、過去の調査で明らかになった学校建設時の造成による整地盛土も確認することができた。A 区中央付近から東側にかけては校舎の基礎構造が変わっており、攪乱範囲が広がっている状況を確認した。

古代をはじめとする遺構の覆土上部は失われている可能性があるが攪乱、基礎下においても、遺構覆土が残存していることが明らかになった。

(5) 公開活用について

調査期間中においては、県立茅ヶ崎北陵高校の高校生や職員からの希望に応じて、現地の説明を行い、調査ヤード周辺の柵等を利用して遺跡内容の簡易展示、調査の進捗状況の情報を発信した。

また、10 月 6 日、11 月 17 日には市民対象の現地説明会を開催し、合わせて約 256 名の来跡者を得た。

以上、調査目的ごとの成果を確認した。確認された建物の詳細な時期、機能等については今後検討を進めていくが、いずれにせよ郡家全体の構成や景観を考える際に必要となる資料を得ることができた。

ウ 公開普及等

・下寺尾遺跡群保存・活用学習会

史跡指定を受けた古代の官衙遺跡や弥生の環濠集落を含む複数の時代に遺跡が重層する下寺尾遺跡群について、遺跡の概要や保存活用について理解を深めてもらうことを目的に、平成 27 年度より市民向けの学習会を開催している。令和元年度は 4 回の学習会を開催した。

第 11 回下寺尾遺跡群保存・活用学習会

日時 令和元年 6 月 21 日（土）10:30～12:00

場所 茅ヶ崎市役所本庁舎 4 階会議室 3

1 今年度の学習会について

2 講義「史跡 下寺尾西方遺跡～弥生時代環濠集落～」

第 12 回下寺尾遺跡群保存・活用学習会

日時 令和元年 7 月 28 日（日）13:30～16:30

場所 茅ヶ崎市役所本庁舎 1 階市民ふれあいプラザ

1 講演「高座郡家を支えた地域社会のネットワーク」

2 講演「下寺尾の瓦からわかること」

第 13 回下寺尾遺跡群保存・活用学習会

日時 令和元年 9 月 1 日（日）10:00～16:50

※下寺尾遺跡群シンポジウムと併せて開催（「7 埋蔵文化財（7）普及・啓発、イ 国指定記念シンポジウム」を参照）

場所 茅ヶ崎市役所分庁舎 6 階コミュニティホール

1 シンポジウム

第 1 4 回下寺尾遺跡群保存・活用学習会

日時 令和元年 1 1 月 1 7 日（日） 1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 0 0 1 4 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0

場所 史跡下寺尾官衙遺跡群及び下寺尾西方遺跡（確認調査地点）

1 現地説明会

- ・下寺尾遺跡群保存活用連絡会事業「古代遺跡まつり」

下寺尾遺跡群の保存活用により有意の団体及び個人からなる会員により構成される下寺尾遺跡群保存活用連絡会の事業として、下寺尾遺跡群を会場とした「古代遺跡まつり」を実施した。

日時 令和元年 1 0 月 6 日（日） 1 0 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0

場所 史跡 下寺尾官衙遺跡群・下寺尾西方遺跡指定地周辺

1 下寺尾文化祭（古代体験、小学生クイズ、紙芝居、太鼓演奏）

小出地区まちぢから協議会遺跡部会、小出小学校、下寺尾自治会、文教大学

2 まち歩き ～下寺尾遺跡群を巡る～

ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の会

3 まち歩き ～史跡周辺を巡る～

特定非営利活動法人 アーバン デザイン センター・茅ヶ崎

4 出土資料の公開・解説

茅ヶ崎市文化資料館と活動する会 考古部会

5 七堂伽藍跡遺跡説明、西方遺跡発掘現場公開

茅ヶ崎市教育委員会

6 企画・運営協力

みずき自治会、香川自治会、茅ヶ崎郷土会、茅ヶ崎市文化財保護審議会

ちがさき丸ごとふるさと発見博物館友の会、茅ヶ崎市観光協会、寒川町教育委員会

エ 資料整理・調査

下寺尾官衙遺跡群内の下寺尾廃寺（七堂伽藍跡）については、1 7 回にわたる確認調査を行っており、これらの調査による資料の整理を継続して行っている。令和元年度においては、昨年度に引き続き報告書刊行済みの資料を対象とした再収納作業と、茅ヶ崎市役所旧庁舎から旧小和田消防署に移動した資料の整理を行った。さらに、神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校の敷地内及び下寺尾廃寺（七堂伽藍跡）において平成 2 7 年度から実施している、史跡確認調査で確認された資料の整理を行っている。

（3）サイン設置事業

下寺尾官衙遺跡群の公開普及を図るため、史跡指定地を含む周辺地に説明板を設置している。令和元年度は次の内容のサインを設置した。

- ・「下寺尾官衙遺跡群解説板」

下寺尾廃寺（七堂伽藍跡）で公有地化を行った地点において、これまでの調査で確認された遺構の周知を目的とした解説板を 4 基設置した。

7 埋蔵文化財

茅ヶ崎市には令和元年度末現在 2 1 6 ヶ所の周知の埋蔵文化財包蔵地が確認されている。これらは旧石器時代から縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良・平安時代、中・近世、近現代の内容を有しており、本市の地に刻まれた歴史を明らかにしている。教育委員会では文化財保護法に基づいて、これらの保護、調査、普及を行っている。

(1) 保護管理事業

- ・窓口照会件数 2,308件
(月別内訳)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
189	170	213	199	168	193	163	192	150	190	230	251	2,308

- ・文化財保護法に基づく届出・通知件数
○土木工事に伴う届出(93条) 468件
(内容・取扱別内訳)

	個人住宅	集合住宅	その他建物	宅地造成	ガス・水道等	その他工事	計
発掘	19	2	10	5	0	0	36
立会	147	8	7	6	177	3	348
慎重工事	50	0	0	1	22	0	73
注意	3	0	0	0	0	0	3
計	219	10	17	12	199	3	468

- 土木工事に伴う通知(94条) 12件
(内容・取扱別内訳)

	道路	ガス・水道等	その他工事	計
発掘	1	0	0	1
立会	0	9	1	10
慎重工事	0	1	0	1
計	1	10	1	12

- 発掘調査届(92条) 9件
(内容別内訳)

集合住宅	その他建物	宅地造成	ガス・水道・電気等	計
3	0	6	0	9

- 教育委員会による発掘調査(99条) 20件
- 遺跡発見届(96条・97条) 0件

- ・出土遺物の管理
令和元年度の合計 49箱
令和元年度までの総計 6620箱
箱数は令和2年3月31日時点での整理作業成果を反映し、保管箱以外の収容遺物も計上した。

(2) 試掘・確認調査

埋蔵文化財包蔵地および包蔵地近隣で生じる開発事業等については、埋蔵文化財の取扱いを協議する際に必要な資料を得るために、事前に現地における確認を行うこととしている。具体的には、事業計画地において小規模な調査区を設定し、その部分の発掘調査を行い遺跡状況(遺構・遺物の有無、深さ、時代な

ど)の把握を行っている。令和元年度は75件(内16件は記録保存調査を兼ねる)を実施した。調査面積は全体で786.26㎡を測る。調査の結果、75件中58件で遺構や遺物などが確認されている。こうした結果を基に調整を行っている。なお、調査については原則として公費(国・県・市)で行っている。

令和元年度 試掘・確認調査一覧

No.	調査日	所在地	遺跡名 (台帳番号)	工事目的	調査 面積	結果 (遺構・遺物など)
1	4月15日	萩園字番場 1654 番 1	番場A遺跡 (茅ヶ崎市 No. 175)	個人住宅	4	遺構・遺物あり
2	4月16日	西久保字広町 2002 番 17	広町遺跡 (茅ヶ崎市 No. 191)	個人住宅	4	遺構なし、遺物あり
3	4月16日 ～ 4月18日	浜之郷 477 番地付近	宮ノ腰遺跡 (茅ヶ崎市 No. 152)	水道	3.53	遺構・遺物あり
4	4月17日	西久保字上ノ町 1639-23、1639-29	上ノ町遺跡 (茅ヶ崎市 No. 148)	個人住宅	4	遺構なし、遺物あり
5	4月18日	赤羽根字二図 398 番 2 の一部外 2 筆	二図B遺跡(狸塚も 含む) (茅ヶ崎市 No. 57)	宅地造成	9.5	遺構・遺物あり
6	4月22日	菱沼三丁目 41	長町B遺跡 (茅ヶ崎市 No. 80)	集合住宅	8	遺構・遺物あり
7	5月7日 ～ 5月10日	矢畑字金山 81 番 3	金山遺跡 (茅ヶ崎市 No. 182)	個人住宅	30	遺構・遺物あり
8	5月13日 ～ 5月15日	西久保字大屋敷 721 番 6、7、1の一部	大屋敷B遺跡 (茅ヶ崎市 No. 189)	個人住宅	9	遺構・遺物あり
9	5月16日	室田三丁目 1011-1、 1012-5	向原遺跡 (茅ヶ崎市 No. 197)	有料老人 ホーム	8	遺構なし、遺物あり
10	5月17日	出口町 1770 番 1 外 4 筆	出口C遺跡 (茅ヶ崎市 No. 198)	宅地造成	8	遺構・遺物なし
11	5月20日	矢畑 745	鐘ヶ谷遺跡 (茅ヶ崎市 No. 215)	宅地造成	4.6	遺構・遺物あり
12	5月27日	萩園 1855-1、-2	番場B遺跡 (茅ヶ崎市 No. 176)	個人住宅	4	遺構・遺物なし
13	6月3日	西久保字大屋敷 786 番 3、790 番 1、791 番 1	大屋敷B遺跡 (茅ヶ崎市 No. 189)	個人住宅	12	遺構・遺物あり
14	6月4日	下寺尾 1587 番 1	東方D遺跡 (茅ヶ崎市 No. 38)	太陽光発電 設備の設置	12	遺構・遺物なし
15	6月5日	香川五丁目 1392-1、 1393-3	中通C遺跡 (茅ヶ崎市 No. 167)	集合住宅	9.6	遺構・遺物あり
16	6月6日	堤 3594 番 1、 3595 番、3596 番	大島仲谷遺跡 (茅ヶ崎市 No. 37)	自動車 解体業	4.25	遺構・遺物なし

17	6月7日	本村四丁目 15-22	居村B遺跡 (茅ヶ崎市 No. 202)	個人住宅	4	遺構・遺物あり
18	6月18日	萩園 2305-31	上大田島遺跡 (茅ヶ崎市 No. 179)	個人住宅	4	遺構・遺物あり
19	6月28日	室田一丁目 11-28	包蔵地外	宅地造成	4	遺構・遺物あり
20	7月1日	松林三丁目 596-12、 596-4	手城塚B遺跡 (茅ヶ崎市 No. 92)	個人住宅	4	遺構なし、遺物あり
21	7月8日	芹沢字大久保 3023-1、 3021	久保山B遺跡 (茅ヶ崎市 No. 25)	資材置き場	11.8	遺構・遺物あり
22	7月9日	浜之郷字石原 736 番 1	石原A遺跡 (茅ヶ崎市 No. 147)	宅地造成	8.6	遺構・遺物あり
23	7月17日	代官町 3021 番 2 の一部	代官町A遺跡 (茅ヶ崎市 No. 83)	個人住宅	4	遺構なし、遺物あり
24	7月19日	堤字南谷 2754 番 2	堤貝塚(十二天A遺 跡) (茅ヶ崎市 No. 8)	個人住宅	1.87	遺構・遺物あり
25	7月22日	松林三丁目 906 番 3	手城塚B遺跡 (茅ヶ崎市 No. 92)	個人住宅	4	遺構・遺物あり
26	8月1日	下町屋二丁目 3365-3、 335-13	石原A遺跡 (茅ヶ崎市 No. 147)	個人住宅	4	遺構なし、遺物あり
27	8月1日	下町屋二丁目 335-11、 335-12	石原A遺跡 (茅ヶ崎市 No. 147)	個人住宅	9	遺構なし、遺物あり
28	8月2日	矢畑字金山 60 番 13	金山遺跡 (茅ヶ崎市 No. 182)	個人住宅	6	遺構なし、遺物あり
29	8月20日	香川四丁目 50-27	間門遺跡 (茅ヶ崎市 No. 9)	幼稚園改築 工事	8	遺構・遺物なし
30	8月21日	小和田二丁目 3-28	宿遺跡 (茅ヶ崎市 No. 79)	個人住宅	4	遺構・遺物なし
31	8月21日	小和田二丁目 388-2、 -3	宿遺跡 (茅ヶ崎市 No. 79)	宅地造成	4	遺構・遺物なし
32	8月26日	西久保字広町 2019 番 1	広町遺跡 (茅ヶ崎市 No. 191)	個人住宅	9	遺構・遺物あり
33	9月2日	西久保字広町 2019 番 9	広町遺跡 (茅ヶ崎市 No. 191)	個人住宅	4	遺構・遺物あり
34	9月2日	西久保字広町 2019 番 8	広町遺跡 (茅ヶ崎市 No. 191)	個人住宅	4	遺構・遺物あり
35	9月5日	小和田三丁目 956-5 の 一部 (A区画)	餅塚遺跡 (茅ヶ崎市 No. 65)	個人住宅	4	遺構・遺物なし
36	9月5日	小和田三丁目 956-5 の 一部 (B区画)	餅塚遺跡 (茅ヶ崎市 No. 65)	個人住宅	4	遺構あり、遺物なし
37	9月11日 ～ 9月12日	本村一丁目 2-1	前ノ田遺跡 (茅ヶ崎市 No. 200)	集合住宅	50	遺構なし、遺物あり

38	9月19日	浜之郷字石原 787 番 12 外 11 筆	石原B遺跡 (茅ヶ崎市 No. 180)	宅地造成	9	遺構・遺物あり
39	9月26日	小和田二丁目 486 番 5、11、14、15、492 番 2	包蔵地外	宅地造成	8	遺構なし、遺物あり
40	10月3日	芹沢字清水 854 番 7	二本松遺跡 (茅ヶ崎市 No. 30)	個人住宅	31.5	遺構あり、遺物なし
41	10月15日	本村四丁目 1695-1 外	前ノ田遺跡 (茅ヶ崎市 No. 200)	集合住宅	12	遺構・遺物あり
42	10月17日	芹沢字臼久保 4118-1	大久保A遺跡 (茅ヶ崎市 No. 4)	太陽光発電 設備の設置	6.5	遺構あり、遺物なし
43	10月21日	芹沢字久保山 2299-1 番地～2303-1 番地先	下場B遺跡 (茅ヶ崎市 No. 114)	公道	12	遺構・遺物あり
44	10月24日	甘沼 560 外	包蔵地外	宅地造成	4	遺構・遺物なし
45	10月24日	西久保字大屋敷 747-1、750-1 の一部、 751-1 の一部、755-11 の一部	大屋敷B遺跡 (茅ヶ崎市 No. 189)	集合住宅	4.8	遺構・遺物あり
46	11月14日	松林一丁目 1507 番 3、 7	網久保B遺跡 (茅ヶ崎市 No. 90)	個人住宅	4	遺構・遺物あり
47	11月18日 ～ 11月19日	円蔵字御屋敷 2271-11、-12、2275-4	御屋敷B遺跡 (茅ヶ崎市 No. 157)	個人住宅	6.25	遺構・遺物あり
48	11月20日 ～ 11月21日	下寺尾字西方 341-6、 340-2、340-4、340-5	西方遺跡 (茅ヶ崎市 No. 1)	個人住宅	45.03	遺構・遺物あり
49	11月25日	堤字大洞谷 1704 番 1 の一部外	山田谷B遺跡 (茅ヶ崎市 No. 117)	個人住宅	3	遺構・遺物あり
50	11月28日	香川二丁目 1746-1	香川諏訪神社東遺跡 (茅ヶ崎市 No. 2)	宅地造成	8.6	遺構なし、遺物あり
51	12月13日	浜之郷 353-7	本社B遺跡 (茅ヶ崎市 No. 181)	個人住宅	9	遺構・遺物あり
52	12月19日	菱沼一丁目 782 番 2	手城塚A遺跡 (茅ヶ崎市 No. 60)	宅地造成	8	遺構なし、遺物あり
53	12月20日	円蔵 2573-5、2574-3	下ヶ町遺跡 (茅ヶ崎市 No. 184)	個人住宅 2 棟	9	遺構・遺物なし
54	1月9日	堤 3643 番、3642 番、 3640 番	包蔵地外	野球練習場	7.05	遺構・遺物あり
55	1月14日	下寺尾字西方 317 番 の一部	西方遺跡 (茅ヶ崎市 No. 1)	個人住宅	105.2	遺構・遺物あり
56	1月17日	本村四丁目 1641 番 5、6	前ノ田遺跡 (茅ヶ崎市 No. 200)	個人住宅	2.25	遺構・遺物あり

57	1月28日	新栄町 5601 番 2 の一部 及び同番 5	包蔵地外	店舗	48	遺構・遺物なし
58	1月29日	小桜町 1855-1、 1857-1、-2、-3、-5	小桜町遺跡 (茅ヶ崎市 No. 82)	ガソリンスタンド	22.5	遺構・遺物なし
59	1月30日	円蔵二丁目 2195-8	御屋敷A遺跡 (茅ヶ崎市 No. 156)	店舗兼個人住宅	4	遺構・遺物なし
60	1月31日	西久保 915-11	広町遺跡 (茅ヶ崎市 No. 191)	個人住宅	4.6	遺構・遺物あり
61	2月13日	芹沢字中ノ谷 979 番 1	芹沢遺跡 (茅ヶ崎市 No. 29)	携帯基地局	7.29	遺構・遺物なし
62	2月14日	矢畑字鐘ヶ谷 774 番 1	鐘ヶ谷遺跡 (茅ヶ崎市 No. 215)	宅地造成	5	遺構・遺物あり
63	2月17日	小和田一丁目 756-1	木ノ下A遺跡 (茅ヶ崎市 No. 88)	個人住宅	2.25	遺構・遺物なし
64	2月17日	小和田一丁目 756-3	木ノ下A遺跡 (茅ヶ崎市 No. 88)	個人住宅	2.25	遺構なし、遺物あり
65	2月18日	西久保 620-6 外 4 筆	大屋敷A遺跡 (茅ヶ崎市 No. 188)	宅地造成	10.6	遺構・遺物あり
66	2月20日	本村五丁目 1059 番 13	居村A遺跡 (茅ヶ崎市 No. 199)	個人住宅	4	遺構・遺物あり
67	2月25日	小和田一丁目 1543 番 1 の一部外 4 筆	池袋A遺跡 (茅ヶ崎市 No. 81)	宅地造成	24.64	遺構・遺物あり
68	3月2日 ～ 3月6日	下寺尾 365	西方遺跡 (茅ヶ崎市 No. 1)	倉庫	17.35	遺構・遺物あり
69	3月3日	香川一丁目 210 番 1 外 2 筆	原遺跡 (茅ヶ崎市 No. 53)	宅地造成	8.8	遺構あり、遺物なし
70	3月12日	浜之郷字中谷 262 番 7、278 番 12	中谷遺跡 (茅ヶ崎市 No. 187)	集合住宅	4	遺構・遺物あり
71	3月19日	東海岸北四丁目 6978 の 1 の一部	上東原下遺跡 (茅ヶ崎市 No. 100)	長屋	8	遺構・遺物なし
72	3月24日	円蔵字鶴ヶ町 83 番 1 及 び 84 番 1	鶴ヶ町遺跡 (茅ヶ崎市 No. 186)	宅地造成	8	遺構・遺物あり
73	3月26日	円蔵 2463-1 の内	下ヶ町遺跡 (茅ヶ崎市 No. 184)	宅地造成	9.8	遺構・遺物あり
74	3月28日	菱沼三丁目 256-2 の 一部	長町B遺跡 (茅ヶ崎市 No. 80)	個人住宅 (A 区画) (B 区画)	4	遺構・遺物なし
75	3月30日	本村五丁目 1059 番 2	居村A遺跡 (茅ヶ崎市 No. 199)	個人住宅	9	遺構・遺物あり
75 件				752.26 m ²		

(3) 開発に伴う発掘調査

令和元年度に市内で実施された開発に伴う発掘調査は11地点である。

以下、調査一覧を記す。

No.	遺跡名称	所在地	調査主体者	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)
1	本村居村A遺跡 (茅ヶ崎市No.199) 第10次調査	本村五丁目 1076 番	有限会社吾妻考古学 研究所	集合住宅	3月15日 ～5月18日	658.9
2	浜之郷本社A遺跡 (茅ヶ崎市No.154) 第13次調査	浜之郷字本社 355 番 8、 9	茅ヶ崎市教育委員会	個人住宅	4月24日 ～4月26日	25
3	菱沼已待田A遺跡 (茅ヶ崎市No.74) 第3次調査	菱沼二丁目 341 番 4 及 び 342 番 2	株式会社アーク・フ ィールドワークシス テム	宅地造成	5月7日 ～7月4日	169.5
4	本村前ノ田遺跡 (茅ヶ崎市No.200) 第6次調査	本村四丁目 1639 番、 1640 番 1 の各一部	株式会社アーク・フ ィールドワークシス テム	集合住宅	7月16日 ～11月13日	350.6
5	赤羽根二図B遺跡 (狸塚も含む) (茅ヶ崎市No.57) 第7次調査	赤羽根字二図 398 番 2 の一部外 2 筆	有限会社吾妻考古学 研究所	宅地造成	7月22日 ～8月2日	22
6	室田東ノ町遺跡 (茅ヶ崎市No.195) 第3次調査	室田一丁目 139 番 1	株式会社アーク・フ ィールドワークシス テム	宅地造成	9月5日 ～10月4日	180
7	西久保大屋敷B遺跡 (茅ヶ崎市No.189) 第14次調査	西久保字大屋敷 747-1、 750-1 の一部、751-1 の 一部、755-11 の一部	株式会社四門	集合住宅	1月14日 ～2月5日	61.092
8	矢畑鐘ヶ谷遺跡 (茅ヶ崎市No.215) 第4次調査	矢畑 745	有限会社吾妻考古学 研究所	宅地造成	9月9日 ～9月24日	23.4
9	浜之郷石原A遺跡 (茅ヶ崎市No.147) 第11次調査	浜之郷字石原 736 番 1	株式会社アーク・フ ィールドワークシス テム	宅地造成	1月27日 ～2月21日	82.43
10	浜之郷石原B遺跡 (茅ヶ崎市No.180) 第11次調査	浜之郷字石原 787 番 12 外 11 筆	株式会社アーク・フ ィールドワークシス テム	宅地造成	11月18日 ～12月10日	115.8
11	浜之郷石原A遺跡 (茅ヶ崎市No.147) 第10次調査	下町屋二丁目 288-5、-6	茅ヶ崎市教育委員会	個人住宅	8月22日 ～8月23日	9
11件						1697.722 ㎡

(4) 立会調査等

文化財保護法に基づく届出等に対し、県より発掘調査、立会、慎重工事などの指示が出される。これらに伴い、発掘調査における調査立会や完了立会のほか、工事中における立会を実施し、必要な指導や記録の作成を行っている。令和元年度に実施した立会調査は76件である。

(5) 会議等

ア 市町村埋蔵文化財保護行政連絡協議会

- ・定例会

日時：令和元年10月31日（木）

場所：相模原市（台風19号対応のため書面会議で実施）

イ 県・市町村埋蔵文化財検討分科会

日時：第1回令和元年6月20日（木）

第2回令和元年7月22日（月）

第3回令和元年8月29日（木）

第4回令和元年10月15日（火）

第5回令和元年12月5日（木）

第6回令和2年1月30日（木）

場所：神奈川県埋蔵文化財センター

(6) 出土品資料等整理

開発事業等に伴い実施された埋蔵文化財調査に係る資料は年々増加しており、多数収蔵されている。こうしたことから、収蔵資料の内容確認と再整理を行うことで、学校教育ならびに社会教育での活用を可能にすることを目的とする。なお、本事業は国および県からの補助を受けて実施している。

出土品資料等収蔵整理

期間：平成31年4月1日（月）～令和2年3月31日（火）

整理場所：茅ヶ崎市梅田文化財収蔵庫

整理主体：茅ヶ崎市教育委員会

整理補助：公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団

担当者：大村浩司（市社会教育課）

概要：ア.収蔵庫などの現況把握

イ.発掘調査一覧補遺作成

ウ.遺物整理分類作業

エ.集計・台帳記入作業

(7) 普及・啓発

ア 茅ヶ崎市遺跡調査発表展示会

- ・発表会

第30回目を数える茅ヶ崎市遺跡調査発表会は、茅ヶ崎市教育委員会と財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団の主催で実施した。平成30年度に市内で行われた発掘調査19件についてスライド等を利用して、各調査の担当者が発表を行い、令和元年度に実施した史跡下寺尾官衙遺跡群及び史跡下寺尾西方遺跡（西方遺跡）第7次確認調査について速報した。内容は以下の通りである。

日時：令和元年12月8日（日）10：00～16：25

場所：茅ヶ崎市民文化会館小ホール

参加人数：175人

主催：市教育委員会、公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団

発表内容

【基本講座】

「平成 30 年度埋蔵文化財調査等の動向」 茅ヶ崎市教育委員会 鈴木綾

【基本報告】

「本村 前ノ田遺跡第 5 次調査」 株式会社アーク・フィールドワークシステム 渡辺務氏

【特別報告】

「下寺尾西方遺跡第 6・7 次調査の概要」 茅ヶ崎市教育委員会 加藤大二郎

【セッション 1】 懐島周辺の発掘調査成果について

司会進行：加藤大二郎（茅ヶ崎市教育委員会）

パネリスト：各調査担当者

調査遺跡（誌上発表含む）

西久保上ノ町遺跡第 20 次調査 有限会社吾妻考古学研究所 大坪宣雄氏

西久保広町遺跡第 6 次調査 株式会社四門 高橋泰子氏

西久保広町遺跡第 7 次調査 茅ヶ崎市教育委員会 加藤大二郎

西久保大屋敷 A 遺跡第 6 次調査 有限会社吾妻考古学研究所 大坪宣雄氏

西久保大町 B 遺跡第 5 次調査 茅ヶ崎市教育委員会 加藤大二郎

円蔵下ヶ町遺跡第 17 次調査 株式会社アーク・フィールドワークシステム 渡辺務氏

円蔵下ヶ町遺跡公共下水道布設工事関連調査

公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団 伊藤俊一

円蔵鶴ヶ町遺跡第 10 次調査 株式会社四門 高橋泰子氏

円蔵御屋敷 B 遺跡第 12 次調査 株式会社アーク・フィールドワークシステム 市川正史氏

下町屋石原 A 遺跡第 8・9 次調査 株式会社アーク・フィールドワークシステム 吉岡秀範氏

【セッション 2】 砂州・砂丘地帯の発掘調査成果について

司会進行：加藤大二郎（茅ヶ崎市教育委員会）

パネリスト：各調査担当者

調査遺跡（誌上発表含む）

本村居村 A 遺跡第 9 次調査 株式会社アーク・フィールドワークシステム 渡辺務氏

本村居村 B 遺跡第 7 次調査 株式会社アーク・フィールドワークシステム 吉岡秀範氏

本村前ノ田遺跡第 5 次調査 株式会社アーク・フィールドワークシステム 渡辺務氏

本村向原遺跡公共下水道布設工事関連調査

公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団 伊藤俊一

菱沼前田 A 遺跡第 5 次調査 株式会社玉川文化財研究所 河合英夫氏

小桜町小桜町遺跡第 1 次調査 有限会社吾妻考古学研究所 大坪宣雄氏

赤羽根二回 B 遺跡第 6 次調査 株式会社アーク・フィールドワークシステム 吉岡秀範氏

・展示会

令和元年度に実施した下寺尾西方遺跡第 7 次確認調査について速報及び平成 30 年度の発掘調査地点の成果について展示を行った。内容は以下の通りである。

日時：令和元年 12 月 5 日（木）～12 月 10 日（火）10：00～18：00

場所：茅ヶ崎市民文化会館 1 階展示室

入場者数：586 人

・茅ヶ崎市遺跡調査発表会第 30 回記念事業

今年度で 30 回を数える遺跡調査発表会の足跡を振り返り、市民への遺跡調査成果公開の機会として定着してきた発表会の今後のあり方について他市町村等の事例との比較を通して考える機会とした。

日時：令和元年 12 月 15 日（日）10：00～17：00

場所：高砂コミュニティセンター 3 階

入場者数：78 人

テーマ1 座談会「茅ヶ崎発掘40年～発掘調査が明らかにしてきた茅ヶ崎の歴史～」
 テーマ2 シンポジウム「遺跡調査発表会を考える～遺跡調査成果をどのように公開するか～」

イ 国指定記念シンポジウム

「重なる史跡～多様化する史跡～」

平成31年2月26日（火）に「下寺尾西方遺跡」が国の史跡指定を受けたことを記念して、史跡の周知を図るとともに、同じ場所で時代の異なる遺跡が、それぞれ国史跡として指定された事例は全国でも少ないことから、重なる史跡について考える機会とすることを目的に実施した。

日時：令和元9月1日（日）10：00～17：00

場所：茅ヶ崎市役所分庁舎6階コミュニティホール

入場者数：158人

主催：茅ヶ崎市教育委員会

内容：①記念講演

「土地に刻まれた歴史を知る」 佐藤信（東京大学名誉教授）

「多様化する史跡の保存・活用」 禰亘田佳男（大阪府立弥生文化博物館館長）

②趣旨説明・概要報告

「史跡下寺尾官衙遺跡群と史跡下寺尾西方遺跡の概要」 大村浩司（市社会教育課）

③事例発表

1 「重なる史跡近世小田原城の米蔵跡と中世小田原城の庭園遺構」

大島慎一氏（小田原市）

2 「保存管理計画の策定一史跡と名勝庭園一」 玉林美男氏（鎌倉市教育委員会）

3 「重複指定（史跡と天然記念物）を受けた旧相模川橋脚」 大村浩司（市社会教育課）

④討論

テーマ1：「重なる史跡」について、その価値をどのように捉え、保存活用にむけ調査・整備していくか。

テーマ2：「多様性のある史跡」について、どのように評価し、保存活用していくか。

パネリスト：講演者

進行：大村浩司、三戸智也（市社会教育課）

ウ 講師対応

小中学校で行われている総合的な学習の時間や、市民対象のまなび講座などへの対応で、以下の講義を行った。

日 付	タイトル	講 師
4月20日（土）	茅ヶ崎寒川広域連携事業さむかわ考古学講座① 古墳時代の寒川～大神塚を中心に	小林秀満氏（寒川町教育委員会）
5月11日（土）	茅ヶ崎寒川広域連携事業さむかわ考古学講座② 古墳時代の茅ヶ崎～下寺尾周辺の古墳時代の遺跡～	加藤大二郎（市社会教育課）
5月14日（火）	小出遺跡学習会① 遺跡とは何かを知りましょう	加藤大二郎（市社会教育課）
6月1日（土）	茅ヶ崎寒川広域連携事業さむかわ考古学講座③ 茅ヶ崎市下寺尾地区のフィールドワーク	加藤大二郎（市社会教育課）
6月19日（水）	小出小学校コラボ授業① 小出で見つかったコレはなんだろう	小出小学校教諭

6月11日(火)	小出遺跡学習会② 遺跡の種類を知りましょう	加藤大二郎(市社会教育課)
6月20日(木)	鶴嶺小学校学区探検対応 旧相模川橋脚現地解説	大村浩司、加藤大二郎 三戸智也、鈴木綾 (市社会教育課)
6月20日(木)	香川小学校コラボ授業① 小出で見つかったコレはなんだろう	香川小学校教諭
6月24日(月)	西浜小学校コラボ授業① 小出で見つかったコレはなんだろう	西浜小学校教諭
6月25日(火)	小出小学校コラボ授業② 小出で見つかった遺跡のお話	大村浩司、三戸智也、鈴木綾 (市社会教育課)
6月26日(水)	香川小学校コラボ授業② 小出で見つかった遺跡のお話	大村浩司、三戸智也、鈴木綾 (市社会教育課)
7月9日(火)	西浜小学校コラボ授業② 小出で見つかった遺跡のお話	加藤大二郎(市社会教育課)
7月9日(火)	小出遺跡学習会③ 小出周辺の遺跡を知りましょう	加藤大二郎(市社会教育課)
7月18日(木)	小出遺跡学習会(フィールドワーク①) 小出周辺の遺跡を巡りましょう	加藤大二郎、鈴木綾(市社会教育課)
8月27日(火)	鶴嶺小学校 校内研究講師	加藤大二郎、大村浩司 (市社会教育課)
9月10日(火)	小出遺跡学習会④ 人類の歴史を知りましょう	鈴木綾(市社会教育課)
9月24日(火)	関東学院大学講義 まちを特徴づける文化づくり	富岡信朗(市社会教育課)
10月8日(火)	小出遺跡学習会⑤ 考古学の世界を知りましょう	鈴木綾(市社会教育課)
10月12日(土)	第43回神奈川県遺跡調査・研究発表会 七堂伽藍跡の調査について	大村浩司(市社会教育課)
11月12日(火)	小出遺跡学習会⑥ 市内南部の遺跡を知りましょう	加藤大二郎(市社会教育課)
11月16日(土)	小出遺跡学習会(フィールドワーク②) 市内南部の遺跡を巡りましょう	加藤大二郎、鈴木綾(市社会教育課)
12月10日(火)	小出遺跡学習会⑦ 下寺尾官衙遺跡群を知りましょう①	加藤大二郎(市社会教育課)
1月21日(火)	小出遺跡学習会⑧ 下寺尾官衙遺跡群を知りましょう②	加藤大二郎(市社会教育課)
1月21日(火)	小出遺跡学習会⑨ 下寺尾官衙遺跡群を体感しましょう	加藤大二郎(市社会教育課)
2月16日(日)	ゆめクラブ芹沢 下寺尾の遺跡について	加藤大二郎(市社会教育課)
2月20日(木)	小出遺跡学習会(フィールドワーク③) 下寺尾の遺跡を巡りましょう	加藤大二郎、鈴木綾(市社会教育課)

エ 遺跡説明板設置

- ・居村遺跡説明板設置

都市部の遺跡を紹介し、日常生活の中で埋蔵文化財に親しみながら市内遺跡への理解を深めていただくことを目的として、まち歩きを令和2年3月28日に計画した。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からまち歩きについては中止し、現地に設置した説明板については、ホームページで紹介し公開普及に努めた。

(8) 刊行物

- ・茅ヶ崎市埋蔵文化財調査報告55『茅ヶ崎市埋蔵文化財調査集報Ⅷ～西久保広町遺跡第7次調査・西久保大町遺跡第5次調査～』500部
- ・茅ヶ崎市埋蔵文化財調査報告56『市内遺跡試掘・確認調査報告ⅩⅧ～平成30（2018）年度実施の埋蔵文化財試掘・確認調査報告～』300部

(9) 資料貸出・使用承認

- ・承認先 認定NPO法人湘南ふじさわシニアネット
目的 えのしま・ふじさわポータルサイト上で使用するため
資料内容 整備された橋脚、仮指定段階橋脚、旧相模川橋脚出現時、整備前の様子、保存池精査の様子、遺跡解説模型の写真
保存方法の概念図、推定される橋の方向と川の流れの図
- ・承認先 有限会社基礎ジャーナル社
目的 新聞「建設基礎」に史跡の記事と併せて掲載するため
資料内容 旧相模川橋脚出現時、整備された橋脚、現地説明板の写真
- ・承認先 公益社団法人 俳人協会
目的 俳人協会60周年記念誌を作成するため
資料内容 浄見寺の大岡家一族墓所近景の写真
- ・承認先 押木裕己
目的 鎌倉市教育委員会編・発行『鎌倉市教育委員会文化財部研究紀要』第2号
論考「再考・今小路西遺跡出土の古代木簡」へ掲載するため
資料内容 本村居村B遺跡第2号木簡（放生木簡）の赤外線写真
- ・承認先 アーバンデザインセンター・茅ヶ崎
目的 雑誌「造景2020」に史跡での取組みを掲載するため
資料内容 下寺尾官衙遺跡群遠景の写真

(10) 文化財資料の管理

資料保管施設

- ・梅田文化財収蔵庫

茅ヶ崎市十間坂三丁目6-17に所在。昭和63年に建設され、その後平成3年には増築が行われた。重量鉄骨2階建てで、1階部分は埋蔵文化財関連資料（出土資料・記録資料）を収蔵し、一部出土品整理作業のスペースとして併用している。2階は主に民俗資料を収蔵している。

- ・文化財調査事務所

茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目5-46に所在。平成13年に建設されたプレハブ2階建てで、資料収蔵と整理スペースを有している。1階は出土品資料の収蔵と整理作業スペース、2階は記録資料収蔵と整理作業スペースとして利用している。なお、本施設は1階の一部が放課後の学童保育所として使用されている複合施設である。

- ・茅ヶ崎市立鶴が台小学校内収蔵室

茅ヶ崎市鶴が台12-1に所在。復元された土器類や造形保存資料を中心に保管・収蔵をしており、

一部展示も行っている。また、関連図書資料も保管している。

・赤羽根中学校内収蔵室

茅ヶ崎市赤羽根 3 0 3 0 に所在。平成 2 7 (2 0 1 5) 年 8 月より収蔵スペースとして使用している。茅ヶ崎市営野球場の使用が困難になったため、中学校内の一部に出土資料を移転した。また、梅田文化財収蔵庫に収蔵されている資料のうち、整理作業が終了した資料の一部も収蔵されている。

・旧小和田消防出張所

茅ヶ崎市松浪二丁目 3 - 3 7 に所在。平成 2 9 年 5 月より収蔵開始。茅ヶ崎市役所旧庁舎の解体に伴い、仮収蔵スペースとして使用している。

(1 1) 関係図書資料の交換・寄贈

令和元年度 交換・寄贈関係図書資料一覧

都道府県名	寄 贈 機 関 名	書 名
愛知県	豊橋市教育委員会	市内遺跡発掘調査 平成 28 年度
		市内埋蔵文化財発掘調査Ⅲ 平成 24・25 年度
	豊田市教育委員会	第 79 集 今朝平遺跡
	豊田市郷土資料館	平成 29 年度市内遺跡発掘調査事業概要報告書
		豊田市郷土資料館だより No.104
		豊田市郷土資料館だより No.105
		豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書 第 78 集
		豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書 第 80 集
		豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書 第 81 集
茨城県	上高津貝塚ふるさと歴史の広場	上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報 第 24 号
		上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報 第 25 号
		上高津貝塚周辺確認調査報告
		第 22 回企画展「常陸の玉作り」展示パンフレット
岩手県	奥州市埋蔵文化財調査センター	下河原館(内館)跡
	平泉町教育委員会	特別史跡 無量光院跡発掘調査報告書 XV
		平泉遺跡群発掘調査報告書
岐阜県	各務原市教育委員会	轍
		炉畑遺跡 C 地区(三ツ池遺跡)
	株式会社イビソク	西条土与丸二丁目 1 号遺跡発掘調査報告書 2
		福原遺跡発掘調査報告書
	関市文化財保護センター	関市文化財調査報告第 42 号
		関市文化財調査報告第 42 号
宮城県	東松山市教育委員会	東松山市文化財調査報告書 第 20 集
		東松山市文化財調査報告書 第 21 集
群馬県	伊勢崎市教育委員会	伊勢崎城跡 1
		群馬県伊勢崎市 保泉・丸山東 2 遺跡 2
		平成 28 年度市内遺跡確認調査報告書
	館林市教育委員会	館林市内遺跡発掘調査報告書
		館林市内遺跡発掘調査報告書
	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団	古墳人、現る -金井東裏遺跡の軌跡-

都道府県名	寄 贈 機 関 名	書 名
群馬県	山下工業株式会社	「下谷 A 号墳」発掘調査報告書
	太田市教育委員会	文化財だより No.17
広島県	東広島市教育委員会	杵原 6 号遺跡発掘調査報告書
		吹越2号遺跡発掘調査報告書
		東ひろしまの遺跡 Vol.7
		東広島市内遺跡発掘調査報告書2
		道照遺跡発掘調査報告書
		福原南遺跡発掘調査報告書
		友松5号遺跡発掘調査報告書
	特定非営利活動法人広島文化財センター	城仏土居屋敷跡発掘調査報告書 3
		前長者遺跡発掘調査報告書 2
	府中市教育委員会	史跡備後国府跡保存活用計画
		史跡備後国府跡保存活用計画【概要版】
		伝吉田寺 平成 30(2018)年度調査に関する報告
		府中市内遺跡 18 平成 24(2012)～平成 27(2015)年度調査に関する報告
佐賀県	唐津市教育委員会	第179集 唐津市内遺跡確認調査
		第181集 唐津城跡
埼玉県	さいたま市遺跡調査会	山久保遺跡(第6次)
		山崎貝塚(第7次)
		神田作田遺跡
		神明遺跡ほか10遺跡発掘調査報告
		側ヶ谷戸貝塚(第10次)
		大谷稻荷東遺跡 [A-196 号遺跡]
		大谷口向原北遺跡(第4次)
		中尾緑島東遺跡(第5次)
		中野田島ノ前遺跡(第5次・第6次) 中野田堀ノ内遺跡(第8次) 中野田仲原遺跡(第5次)
		白鍬宮腰遺跡(第14次)
		府内三丁目遺跡(第3次)
		北宿遺跡(第20次)
	坂戸市教育委員会	下田遺跡2 一下田遺跡2区・4区発掘調査報告書一
		下田遺跡3 一下田遺跡3区・5区発掘調査報告書一
	坂戸市立歴史民俗資料館	上谷遺跡7
		平成 29 年度発掘調査 埋文さかど年報
	所沢市教育委員会	宮前遺跡一第 39～42・44～49 遺跡一
		市内遺跡調査報告 25 一下安松遺跡第13次調査一
		所沢市立埋蔵文化財調査センター年報 No.24(平成 29 年度)
		和田遺跡一第 26・27 次調査一

都道府県名	寄 贈 機 関 名	書 名
埼玉県	深谷市教育委員会	埼玉県深谷市「下郷遺跡ⅩⅢ」
		埼玉県深谷市「下郷遺跡ⅩⅣ」
		埼玉県深谷市「侍町遺跡(第2次)」
		埼玉県深谷市「深谷市内遺跡ⅩⅣ」
	朝霞市教育委員会	朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第48集
		朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書第49集
	鶴ヶ島市遺跡調査会	北権現遺跡 第13・16～18・21～23 次発掘調査報告書
	鶴ヶ島市教育委員会	鶴ヶ島市内遺跡発掘調査報告書Ⅻ 山王前遺跡第2次
	飯能市教育委員会生涯学習課	飯能の遺跡(46)
	蓮田市教育委員会	正御地遺跡 第1 調査地点
		請野遺跡 第1 調査地点 城東谷遺跡 第1 調査地点 久台遺跡 第12 調査地点
		椿山遺跡 第12 調査地点
三重県	四日市市教育委員会	久留倍官衙遺跡整備ニュース vol.11
山梨県	南アルプス市教育委員会	南アルプス市 平成29年度埋蔵文化財試掘調査報告書
		南アルプス市ふるさと〇〇博物館パンフレット
	韭崎市教育委員会	史跡新府城跡乾門整備調査報告書
		史跡新府城跡第1期整備報告書
		史跡新府城跡発掘調査報告書～大手丸馬出地区～
神奈川県	(株)斉藤建設	若宮大路周辺遺跡群発掘調査報告書 御成町 816 番 6
		若宮大路周辺遺跡群発掘調査報告書 御成町 868 番 1、868 番 16
		若宮大路周辺遺跡群発掘調査報告書 小町二丁目 55 番 12
	愛川町教育委員会	相模陸軍飛行場関係写真集
	伊勢原市教育委員会	史跡女堀整備基本計画書
		史跡上野国佐位郡正倉跡歴史講座記録集
		平成29年度市内遺跡確認調査報告書
	横須賀市教育委員会	国指定史跡東京湾要塞跡整備基本計画【概要版】
		史跡東京湾要塞跡 猿島砲台跡 千代ヶ崎砲台跡 整備基本計画
		埋蔵文化財発掘調査概報集 ⅩⅩⅤ
	横浜市教育委員会	打越遺跡
		東寺尾中台日本木貝塚C地点
	海老名市教育委員会	逆川跡、国分宿遺跡(相模国分寺関連遺跡第12次調査)発掘調査報告書
		国分宿遺跡発掘調査報告書―第25次―
	株式会社パスコ	西富岡・中島遺跡第3次調査 西富岡・中島2遺跡第4次調査
		西富岡・長竹遺跡第6次調査 西富岡・長竹2遺跡第2次調査
	株式会社玉川文化研究所	船久保遺跡第5次調査
	株式会社玉川文化財研究所	矢作横穴墓群
	株式会社斉藤建設	若宮大路周辺遺跡群発掘調査報告書

都道府県名	寄 贈 機 関 名	書 名
神奈川県	株式会社斉藤建設	若宮大路周辺遺跡群発掘調査報告書
		称名寺D貝塚第3地点発掘調査報告書
		神奈川県鎌倉市 台山遺跡(No.29)発掘調査報告書
		大慶寺旧境内遺跡(No.361)発掘調査報告書
	株式会社博通	甘縄神社遺跡群発掘調査報告書
		佐助ヶ谷遺跡発掘調査報告書
		若宮大路周辺遺跡群発掘調査報告書
		小田原城下欄干橋町遺跡第XVI地点発掘調査報告書
		政所跡発掘調査報告書
		大倉幕府周辺遺跡群発掘調査報告書
		米町遺跡発掘調査報告書
		北条時房・顕時邸跡発掘調査報告書
		北条小町邸跡発掘調査報告書
	株式会社盤古堂	東京都府中市 武蔵国府関連遺跡発掘調査報告
	鎌倉考古学研究所	かまくら考古 第40号
	鎌倉市教育委員会	鎌倉の埋蔵文化財 22
		鎌倉市文化財年表 (平成29年度)
		鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告 36
		鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 35
		鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 35
	玉川文化財研究所	玉川文化財研究所 研究論集 2019
		小田原城下日向屋敷跡第I地点(第3次調査)発掘調査報告書
		小田原城三の丸弁財天跡第X地点 発掘調査報告書
		神奈川県伊勢原市 沼目・原之宿遺跡 第2地点 発掘調査報告書
	公益財団法人かながわ考古学財団	かながわ考古学財団「年報25」平成29年度
		研究紀要24 かながわの考古学
		大山が紡ぐ歴史遺産 ～東名から新東名～ 記録集
		弥生の村に鉄が来た！！
	厚木市教育委員会	あつぎ郷土博物館開館記念厚木市史シンポジウム 愛甲の古代を探る
	江島神社	江島辨財天信仰史
	国際文化財株式会社	増上寺子院群-福聚院跡遺跡発掘調査報告書
	座間市教育委員会	座間むかしむかし第41集
		座間市資料叢書
	三浦市教育委員会	三浦市 市内遺跡発掘調査
	山北町教育委員会生涯学習課	足柄之文化 第46号
	小田原市教育委員会	遺跡講演会「弥生時代中期の小田原～方形周溝墓から迫る～」史料集
		史跡小田原城跡 住吉橋保存修理報告書

都道府県名	寄 贈 機 関 名	書 名
神奈川県	小田原市教育委員会	小田原の遺跡探訪シリーズ 14「谷津周辺の遺跡—丘陵に広がる原始・古代の遺跡—」
		小田原城三の丸 大久保弥六郎邸跡第Ⅱ地点
		小田原城三の丸元蔵堀第Ⅱ地点(第3次調査)
		小田原城下日向屋敷跡第Ⅰ地点(第2次調査)
		平成19年度小田原市緊急発掘調査報告書1 平成19年度試掘調査
		平成19年度小田原市緊急発掘調査報告書2 小田原城下欄干橋町遺跡第Ⅹ地点
		平成19年度小田原市緊急発掘調査報告書3 小八幡酒匂境遺跡第Ⅱ地点
		平成30年「小田原市遺跡調査発表会」発表要旨
	湘南考古学同好会	湘南考古学同好会々報 155
		湘南考古学同好会々報 156
		湘南考古学同好会々報 158
	神奈川県教育委員会	神奈川県埋蔵文化財センター 年報 31
		神奈川県埋蔵文化財調査報告 65
	神奈川県博物協会	神奈川県博物館会報第90号
	秦野市教育委員会	神奈川県秦野市 中里遺跡 下大槻城山遺跡
	逗子市教育委員会	神奈川県逗子市 埋蔵文化財緊急調査報告書 13
	相模原市教育委員会	よみがえる縄文時代の集落 記録集～ここに残った勝坂遺跡～
		よみがえる縄文時代の集落～ここに残った勝坂遺跡～
		苦久保遺跡第6地点発掘調査報告書
		国指定史跡 川尻石器時代遺跡Ⅲ
		小原宿本陣屋敷跡範囲確認調査報告書
		相模原市文化財年報
		相模原市文化財年報 平成30年度の成果
	相模原市立博物館	相模原市立博物館考古企画展 相模原市の遺跡 2019
		大日野原遺跡資料調査報告書
	大磯町教育委員会	国府祭
	大磯町郷土資料館	「吉田茂写真集」
		資料館だより 39号
		図録「鴨立庵」
		大磯町郷土資料館だより 40号
		大磯町助役日誌
		年報 ー平成29年度ー
		年報ー平成30年度ー
	大和市教育委員会	大和市の民具4ー食(加工・醸造・貯蔵用具)
	藤沢市教育委員会	南鍛冶山遺跡発掘調査報告書
	藤沢市役所	藤沢市文化財調査報告書 第54集

都道府県名	寄 贈 機 関 名	書 名
神奈川県	特定非営利活動法人鎌倉考古学研究所	かまくら考古 第43号
	武相文化財研究所	神奈川県鎌倉市宝積寺跡・天神山下城遺跡
		神奈川県平塚市御所ヶ谷遺跡第2地点
	平塚市教育委員会	平塚市埋蔵文化財シリーズ 48 七ノ域遺跡第6地点
		平塚市埋蔵文化財シリーズ 49 御殿B遺跡第1地点
	平塚市博物館	2019春期特別展図録 民具の物語
		2019 年度夏期特別展 平塚学入門
		平塚市博物館研究報告 自然と文化 第 42 号
		平塚市博物館年報 第 42 号
		平塚市博物館年報 第 43 号
	睦合文化財株式会社	稲ヶ原遺跡 C 地点 発掘調査報告書
		金田東屋敷遺跡
		戸室仲原遺跡
		神奈川県鎌倉市 大慈寺跡・五大堂明王院旧境内遺跡
		神奈川県厚木市 金田東屋敷遺跡
		神奈川県厚木市 東町遺跡第 7 地点
		田名坊山遺跡第7地点
		東町遺跡 第8地点
		東町遺跡第8地点
	有限会社ブラフマン	神奈川県平塚市 橋下B遺跡第 1 地点
		神奈川県平塚市 桜畑遺跡第 11 地点
		神奈川県平塚市 北金目塚越遺跡第 20 地点
静岡県	伊豆の国市教育委員会	伊豆の国市 文化財年報3
		伊豆の国市 文化財年報4
		伊豆の国市 文化財年報5
		笠石山洞穴発掘調査報告書 2018
		内中遺跡発掘調査報告書 2017
	静岡県牧之原市教育委員会	男神前田遺跡
	静岡市教育委員会	ふちゅゝる No. 28 平成30年度 静岡市文化財年報
		一丁田遺跡(第 14 次)
		曲金北遺跡 第 20 次発掘調査報告書
		史跡片山廃寺跡 発掘調査報告書(遺物編)
		静岡市内遺跡群発掘調査報告書
	浜松市教育委員会	梶子遺跡19・20次
		二俣城・鳥羽山城の調査
		平成 29 年度 浜松市文化財調査報告
	浜松市市民部文化財課	浜松城跡 12
		浜松城跡 13
	浜松市地域遺産センター	亀塚古墳
		光明山古墳

都道府県名	寄 贈 機 関 名	書 名
静岡県	富士市教育委員会	富士市内遺跡発掘調査報告書 ー平成29年度ー
		富士市内遺跡発掘調査報告書 ー平成 30 年度ー
千葉県	我孫子市教育委員会	我孫子市埋蔵文化財報告第60集
		我孫子市埋蔵文化財報告第61集
	国立歴史民俗博物館	わくわくする研究を歴博で！
		国立歴史民俗博物館研究報告
		国立歴史民俗博物館研究報告 第 214 集
		国立歴史民俗博物館研究報告 第 216 集
		国立歴史民俗博物館研究報告 第 218 集
		令和元年度 国立歴史民俗博物館要覧
	松戸市教育委員会	幸田貝塚第 19 次発掘調査報告書
		千葉県松戸市熊ノ脇遺跡第 5 地点発掘調査報告書
		平成 29 年度松戸市内遺跡発掘調査報告書
	千葉市立加曽利貝塚博物館	貝塚博物館紀要 第 45 号
	船橋市教育委員会	印内台遺跡群(70)発掘調査報告書
		印内台遺跡群(71)発掘調査報告書
		新山貝塚(4)発掘調査報告書
	船橋市教育委員会	西ヶ掘込遺跡(2)発掘調査報告書
		千葉県船橋市取掛西貝塚
		船橋市内遺跡発掘調査報告書
		前貝塚掘込貝塚(8)発掘調査報告書
		中野木台遺跡(18ー2)発掘調査報告書
		中野木台遺跡(19)発掘調査報告書
		平成16年度市費単独事業遺跡発掘調査報告書
大阪府	泉南市教育委員会	泉南市遺跡群発掘調査報告書36
長野県	長野県佐久市教育委員会	岩村田遺跡群 西一本柳遺跡群X X II
		佐久市文化財年報 平成29年度(2017)
		史跡 龍岡城跡V
		市内遺跡発掘調査報告書2017
		周防畑遺跡群 若宮遺跡V
		周防畑遺跡群 大豆田遺跡V 鳴澤遺跡群 古仁田遺跡II
		周防畑遺跡群 通常遺跡III
		西近津遺跡群 西近津遺跡X II
		長土呂遺跡群 下聖端遺跡VI
		東村遺跡群 山伏木遺跡
		野馬窪遺跡群 野馬窪遺跡VII
	長野県諏訪市教育委員会	諏訪市埋蔵文化財調査報告第79集
	飯田市教育委員会	史跡恒川官衙遺跡整備基本計画
		史跡恒川官衙遺跡 恒川遺跡群
		寺所遺跡

都道府県名	寄 贈 機 関 名	書 名
長野県	飯田市教育委員会	上の城窯跡 萩の平窯跡 龍江狐塚遺跡
		上の坊遺跡 馬背塚古墳
		飯田古墳群 範囲確認調査・緊急発掘調査報告書
		平成27～29年度 市内遺跡緊急発掘調査報告書
鳥取県	鳥取県地域づくり推進部	青谷上寺地遺跡発掘調査研究年報 2018
	鳥取県埋蔵文化財センター青谷調査室	青谷上寺地遺跡発掘調査研究年報2017
島根県	大橋泰夫(島根大学法文学部教授)	古代日本における国郡制形成に関する考古学的研究
東京都	テイケイトレード株式会社	東京都江戸川区 上小岩遺跡 第149地点
	ランドアーク株式会社 株式会社東京航業研究所	東京都北区熊野神社遺跡
		東京都北区十条台遺跡群南橋遺跡
	加藤建設株式会社	旧芝離宮庭園遺跡発掘調査報告書
	株式会社シン技術コンサル	東京都町田市 小山中村遺跡
	株式会社吉川弘文館	新しい古代史へ1 地域に生きる人々 甲斐国と古代国家
	株式会社四門	東京都江戸川区 上小岩遺跡 第158地点
	共和開発株式会社	志村坂上遺跡Ⅰ地点第3次調査 発掘調査報告書
		東京都板橋区 前野田向遺跡11地点発掘調査報告書
	公益財団法人 日本文化財保護協会	埋蔵文化財要覧 令和元年度
	公益社団法人日本文化財保護協会	火天 令和元年度会報
	港区教育委員会	愛宕下武家屋敷群－近江水口藩加藤家屋敷跡遺跡－発掘調査報告書
		愛宕下武家屋敷群－近江水口藩加藤家屋敷跡遺跡－発掘調査報告書
		郷土資料館館報 -36-
		研究紀要 20
		港区指定文化財 ー悠久の旅人ー
		港区立郷土歴史館特別展 港区と考古学
		日本・オーストリア 国交のはじまり
		平成30年度 港区指定文化財
	国際文化財株式会社	港区 No.194 遺跡発掘調査報告書
		上粕屋・石倉下遺跡第3次調査
	国立ハンセン病資料館	資料館だより第107号
	昭和館	昭和館館報 第20号
	神奈川県教育委員会	2016年熊本地震日本イコモス報告書
	世田谷区教育委員会	2017年度世田谷区埋蔵文化財調査年報
		2018年度世田谷区埋葬文化財調査年報
		せたがやの文化財 No.30
		上神明遺跡Ⅷ
		上神明遺跡Ⅹ
		上神明遺跡Ⅸ

都道府県名	寄 贈 機 関 名	書 名
東京都	世田谷区教育委員会	世田谷区文化財調査報告集 26
		世田谷区有形文化財桜上水・八幡神社旧本殿の保存修理事業報告書
		成城みつ池の洋風住宅
		中神明遺跡Ⅱ・中神明横穴墓Ⅰ
		中神明遺跡Ⅲ
		堂ヶ谷戸遺跡Ⅹ
		堂ヶ谷戸遺跡Ⅺ
	早稲田大学	古代 第143号
	早稲田大学考古学会	古代 第144号
	早稲田大学史学会	史観 第179冊
		史観 第180冊
	大成エンジニアリング株式会社	神谷町町屋跡遺跡 発掘調査報告書
	町田市教育委員会	小嶋隆蔵「御進発御供日記」三
		東京都町田市 木曽西遺跡Ⅱ 発掘調査報告書
	町田市自由民権資料館	自由民権
		村の常右衛門関係史料目録
		幕末・維新期の町田
	調布市郷土博物館	郷土博物館だより No.80
		調布の文化財
		調布の文化財 第57号
		調布の文化財 第58号
		博物館だより
	東京大学埋蔵文化財調査室	東京大学構内遺跡調査研究年報12 2017・2018年度
	府中市教育委員会	国史跡 武蔵国府跡（国司館地区）
		武蔵国府の調査49—平成27年度府中市内遺跡発掘調査概報
		武蔵国府関連遺跡調査報告 59
	府中市文化スポーツ部ふるさと文化財課	武蔵国関連遺跡発掘調査報告書
	練馬区地域文化部	埋蔵文化財調査報告 33 平成29年度(2017年度)
奈良県	(公財)桜井市文化財協会	王権の地、桜井
	公益財団法人桜井市文化財協会	桜井市内遺跡発掘調査報告書 -2014年度-
	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所 埋蔵文化財センター	埋蔵文化財ニュース 174
		埋蔵文化財ニュース 175
		埋蔵文化財ニュース 176
		埋蔵文化財ニュース 177
福井県	越前市教育委員会	越前市史編纂だより 第14号
福島県	いわき市教育委員会	餓鬼堂横穴群3
		令和元年度市内遺跡試掘調査報告
	南相馬市教育委員会	西迫横穴墓群(3次調査)

都道府県名	寄 贈 機 関 名	書 名
福島県	南相馬市教育委員会	泉官衙遺跡保存活用計画
		大悲山石仏保存活用計画
		東日本大震災復興関連遺跡発掘調査報告書 2
		南海老南町遺跡
		南相馬市内遺跡発掘調査報告書 12

